教材の利用について：このPDFは、利用者本人の個人学習目的で保存・印刷して利用できます。法令上認められる場合を除き、PDFまたは印刷物の第三者への配布・販売、問題・選択肢・解説の転載・流用、塾・講座・研修等での無断利用はできません。詳細は利用規約をご確認ください。https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0001｜難易度：1

建設現場におけるリスクアセスメントの基本的な流れとして、最も適切なものはどれか。

ア．事故発生→原因不明のまま作業再開→記録廃棄

イ．危険性・有害性の特定→リスクの見積り→優先度の設定→リスク低減措置の検討・実施

ウ．作業開始→危険箇所の確認→必要なら後日対策

エ．施工完了→危険性の特定→作業計画作成

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。事故後対応だけでなく事前の予防管理が必要である。

イ：正しい。厚生労働省は危険性・有害性の特定、リスク見積り、優先度設定、低減措置という流れを示している。

ウ：誤り。作業開始前に危険性を把握し、必要な対策を講じる。

エ：誤り。施工前・変更時等に実施する。

総合解説：リスクアセスメントは危険源を先に見つけ、発生可能性と重篤度等から優先順位を付け、効果の高い対策から実施する予防的な安全管理である。

問題 0002｜難易度：1

『バックホウの旋回範囲内に作業員が入る』という状況をリスクアセスメントで扱う際、最も適切な整理はどれか。

ア．事故が起きていないので危険性はないとする

イ．バックホウとの接触・はさまれの危険性を特定し、立入禁止や誘導等の対策を検討する

ウ．重機の価格をリスクとして評価する

エ．作業員の経験年数だけでリスクをゼロと判断する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。事故未発生でも潜在的な危険性は存在する。

イ：正しい。重機接触という危険性を特定し、接近防止等の具体策へつなげる。

ウ：誤り。価格は労働災害リスクの評価対象ではない。

エ：誤り。経験だけで危険性は消えない。

総合解説：リスクアセスメントでは、設備・作業・環境から災害につながる危険源を具体的に特定することが重要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0003｜難易度：2

高所作業のリスク低減措置として、一般に優先度が高い考え方はどれか。

ア．墜落制止用器具だけを着用させ、設備対策は検討しない

イ．高所作業そのものをなくす・減らす方法や作業床・手すり等の設備的対策を優先する

ウ．注意喚起看板だけで全ての高所作業を行う

エ．作業員の熟練度が高ければ対策を省略する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。個人用保護具のみでは人の行動に依存する。

イ：正しい。危険作業の除去・代替や工学的対策を優先し、保護具は補完的に用いる。

ウ：誤り。表示だけでは墜落を物理的に防止できない。

エ：誤り。熟練者でも墜落リスクは残る。

総合解説：リスク低減では危険源そのものの除去・代替、設備的対策、管理的対策、個人用保護具の順で検討するのが基本である。

問題 0004｜難易度：1

作業開始前のKY活動の主な目的として、最も適切なものはどれか。

ア．工事原価を確定する

イ．当日の作業に潜む危険を作業者間で共有し、具体的な安全行動を確認する

ウ．施工数量を増やすことだけを目的とする

エ．事故後の責任者を決める

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。原価管理が目的ではない。

イ：正しい。KY活動は当日の作業条件に即した危険予知と行動確認に有効である。

ウ：誤り。安全確保が目的である。

エ：誤り。事故責任の割当てが目的ではない。

総合解説：KY活動はリスクアセスメントで抽出したリスクを日々の作業条件へ落とし込み、作業員全員で再確認する活動として有効である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0005｜難易度：2

当初は人力運搬だった資材を、工程遅延のため急きょバックホウで吊り移動することになった。最も適切な対応はどれか。

ア．時間がないので従来のKY内容だけで作業する

イ．変更後の作業方法について危険性を再評価し、資格・吊り方法・立入禁止・架空線等を確認してから作業する

ウ．オペレーターが経験者なら作業計画は不要とする

エ．吊荷下に作業員を配置して合図させる

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。新しい危険性を反映できない。

イ：正しい。作業方法変更時は新たな危険が生じるためリスクアセスメント・作業計画を見直す。

ウ：誤り。法令上必要な計画や安全措置は経験で代替できない。

エ：誤り。吊荷下への立入りは危険である。

総合解説：令和8年度の工事事故防止でも、当事者の独自判断や作業手順の不備が事故要因として挙げられており、変更時の再評価が重要である。

問題 0006｜難易度：2

同じ作業で『吊荷が作業員の近くを通過した』というヒヤリハットが複数回報告された。最も適切な対応はどれか。

ア．負傷者が出ていないので記録を削除する

イ．事故になる前の兆候として作業動線・吊り経路・立入管理を見直す

ウ．報告者を注意して終わる

エ．同じ作業を続け、事故が起きたら対策する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。事故予防に有用な情報である。

イ：正しい。ヒヤリハットは潜在的危険の顕在化であり、予防対策へ活用する。

ウ：誤り。個人注意だけでなく作業方法を改善する。

エ：誤り。予防的安全管理に反する。

総合解説：ヒヤリハットや軽微な異常は重大災害の前兆となり得るため、リスクアセスメントへフィードバックする。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0007｜難易度：1

リスクの大きさを見積もる際の考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．発生可能性だけで評価し、死亡災害でも頻度が低ければ無視する

イ．災害の重篤度と発生可能性等を組み合わせて評価する

ウ．作業員数だけで評価する

エ．工事金額だけで評価する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。低頻度でも重篤な災害は重要なリスクである。

イ：正しい。重篤度と発生可能性等を考慮して優先順位を決める。

ウ：誤り。作業員数だけでは評価できない。

エ：誤り。工事金額は安全リスクの直接指標ではない。

総合解説：リスク評価は『どの程度起こりやすいか』と『起きたらどの程度重大か』の両面から考える。

問題 0008｜難易度：3

次の4リスクのうち、一般に最優先で対策すべきものはどれか。A：軽微な擦傷が頻繁に起こる、B：死亡につながる可能性があり発生可能性も高い、C：軽傷で発生可能性が低い、D：物損のみで発生可能性が低い。

ア．リスクA：軽微な擦傷が頻繁に起こる状態

イ．リスクB：死亡につながる可能性があり、発生可能性も高い状態

ウ．リスクC：軽傷で、発生可能性も低い状態

エ．リスクD：物損のみで、発生可能性が低い状態

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。頻度は高いが重篤度が低く、Bより優先度は低い。

イ：正しい。重篤度・発生可能性とも高いリスクは最優先で低減する。

ウ：誤り。重篤度・可能性ともBより低い。

エ：誤り。人身重大災害のBを優先する。

総合解説：リスクアセスメントでは評価結果に応じて対策の優先順位を決め、重大リスクから低減する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0009｜難易度：2

リスク低減措置を実施した後の対応として、最も適切なものはどれか。

ア．対策を1つ実施すればリスクは必ずゼロになる

イ．対策後も残るリスクを再評価し、必要なら追加対策や作業者への周知を行う

ウ．対策後は危険性の確認をしない

エ．残留リスクは記録しない

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。完全除去できないリスクもある。

イ：正しい。低減後の残留リスクを確認し、安全水準が十分か評価する。

ウ：誤り。対策効果を確認する必要がある。

エ：誤り。必要な情報を記録・共有する。

総合解説：リスクアセスメントは対策を決めて終わりではなく、対策後のリスクを再評価する。

問題 0010｜難易度：2

同一ヤードで掘削業者と測量業者が同時作業する場合、最も適切な安全管理はどれか。

ア．各業者が自社作業だけ管理し相互調整しない

イ．重機作業範囲・測量位置・立入禁止区域・合図方法を事前に調整し、双方へ周知する

ウ．測量者は重機オペレーターに見える位置なら自由に立ち入る

エ．重機の旋回範囲は現場で都度判断する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。作業干渉による災害を防げない。

イ：正しい。混在作業では業者間の相互リスクを調整する必要がある。

ウ：誤り。死角や急旋回があり危険である。

エ：誤り。立入管理を事前に定める。

総合解説：令和8年度の事故防止資料でも、重機作業範囲への他作業員立入りやコミュニケーション不足が重大要因として示されている。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0011｜難易度：1

他現場で架空線接触事故が発生した情報を受けた場合、自現場で最も有効な対応はどれか。

ア．他現場の事故なので何もしない

イ．自現場の類似作業を点検し、架空線位置・作業手順・高さ制限・監視方法を再確認する

ウ．事故写真だけ掲示して作業方法は変えない

エ．架空線がある現場でも注意喚起だけで済ませる

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。同種事故の予防に活用できる。

イ：正しい。他現場事故の教訓を類似作業へ水平展開する。

ウ：誤り。具体的な対策へつなげる必要がある。

エ：誤り。物理的・管理的対策を検討する。

総合解説：災害事例は再発防止の重要情報であり、自現場のリスクアセスメントへ反映する。

問題 0012｜難易度：3

深掘削・クレーン揚重・夜間交通規制が重なる工事で、最も適切な安全計画はどれか。

ア．作業ごとに個別KYを行えば相互干渉は考慮しない

イ．各作業の危険性だけでなく、作業間の干渉・時間帯・第三者交通を含めてリスクを評価し、工程・仮設・立入管理へ反映する

ウ．工程優先で同時作業を増やす

エ．夜間は交通量が少ないため第三者対策を省略する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。複数作業の相互作用が事故原因となる。

イ：正しい。複合リスクを一体で評価し、施工計画へ反映する。

ウ：誤り。安全に並行できるかを評価する必要がある。

エ：誤り。視認性低下等、夜間特有のリスクがある。

総合解説：高リスク工事ではリスクアセスメントを単独活動とせず、施工手順・工程・仮設・交通対策へ具体化する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0013｜難易度：1

車両系建設機械を用いる作業について、最も適切なものはどれか。

ア．熟練運転者なら作業計画は不要である

イ．あらかじめ作業計画を定め、その計画に基づいて作業する

ウ．現場が狭い場合だけ作業計画を作る

エ．事故が起きた後に作業計画を作成する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。運転経験に関係なく必要な安全管理を行う。

イ：正しい。車両系建設機械作業では作業計画を定めて実施する。

ウ：誤り。現場条件にかかわらず必要な計画を定める。

エ：誤り。事前の危険防止が目的である。

総合解説：作業計画には機械の種類・能力、運行経路、作業方法等を現場条件に応じて反映する。

問題 0014｜難易度：1

複数作業員が関わる資材荷下ろし作業で作業指揮者を定める主な目的はどれか。

ア．作業員ごとに異なる指示を出す

イ．作業計画に基づき、作業順序・役割・合図を統一して安全に指揮する

ウ．作業速度だけを上げる

エ．事故時の責任を一人に集中させる

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。指示の不統一は事故要因となる。

イ：正しい。作業指揮者は統一した安全な作業を直接指揮する。

ウ：誤り。安全確保が優先される。

エ：誤り。責任転嫁が目的ではない。

総合解説：作業指揮は複数人・複数機械が関係する作業で意思疎通を統一する重要な安全管理である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0015｜難易度：2

移動式クレーン作業について作業方法・転倒防止方法・指揮系統を定めた後、作業開始前に行うべきことはどれか。

ア．クレーン運転者だけに伝え、玉掛け者には伝えない

イ．関係労働者へ作業計画の内容を周知する

ウ．作業終了後に計画を配布する

エ．現場掲示だけで内容説明を一切しない

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。関係者全体へ共有する必要がある。

イ：正しい。クレーン則では定めた事項を作業開始前に関係労働者へ周知することを求めている。

ウ：誤り。作業前に周知する。

エ：誤り。作業者が理解できる方法で共有する。

総合解説：作業計画は作成するだけでなく、運転者・玉掛け者・合図者等が同じ内容を理解して初めて有効になる。

問題 0016｜難易度：2

クレーン作業で複数の作業員が同時に異なる合図を出している。最も適切な改善はどれか。

ア．全員が自由に合図する

イ．合図者と合図方法をあらかじめ定め、運転者が一つの指示系統で操作できるようにする

ウ．声が大きい者の合図だけ採用する

エ．無線と手信号を各自好きに使う

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。矛盾した指示が危険である。

イ：正しい。合図の混乱は誤操作につながるため指揮系統を統一する。

ウ：誤り。正式な合図者を定める必要がある。

エ：誤り。方法・担当を統一する。

総合解説：揚重作業では合図者・合図方法・非常停止時のルールを明確にする。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0017｜難易度：3

強風の影響を受ける橋桁吊上げ作業で、最も適切な作業計画はどれか。

ア．吊り始めたら強風でも最後まで続ける

イ．風速等の中止基準と退避・吊荷処置を事前に定め、基準に達したら作業を中止する

ウ．風速は測定せず運転者の感覚だけで判断する

エ．吊荷を高い位置に保持して風が弱まるのを待つ

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。作業継続により転倒・荷振れリスクが高まる。

イ：正しい。気象条件による危険作業では中止基準と安全な退避方法を事前に定める。

ウ：誤り。客観的な判断基準が必要である。

エ：誤り。吊荷の長時間保持は危険である。

総合解説：安全な作業計画には通常時の手順だけでなく、異常時の中止・退避・再開条件も含める。

問題 0018｜難易度：1

作業主任者を選任すべき作業における作業主任者の基本的な役割として、最も適切なものはどれか。

ア．事務所で書類だけ作成し現場指揮はしない

イ．作業方法を決定し、労働者を直接指揮して安全措置を確認する

ウ．施工数量だけを集計する

エ．作業員の賃金を決定する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。現場で職務を果たす必要がある。

イ：正しい。作業主任者は対象作業を安全に実施するため直接指揮等を行う。

ウ：誤り。安全作業の指揮が主な役割である。

エ：誤り。賃金決定が職務ではない。

総合解説：地山掘削や土止め支保工等では、所定資格を持つ作業主任者による直接指揮が重要となる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0019｜難易度：2

作業中、監督者不在時に作業員が『早く終わるから』と独自に手順を変更しようとしている。最も適切な対応はどれか。

ア．経験者の判断ならそのまま変更する

イ．変更を止め、責任者がリスク・作業方法を確認して正式に指示してから実施する

ウ．他の作業員が同意すれば変更できる

エ．記録しなければ問題ない

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。経験だけでは安全性を保証できない。

イ：正しい。無断変更は計画外リスクを生むため、正式な変更管理が必要である。

ウ：誤り。責任者による確認が必要である。

エ：誤り。記録の有無で危険性は変わらない。

総合解説：令和8年度事故防止資料でも、独自判断・作業手順不備が事故要因として示されている。

問題 0020｜難易度：2

夜間の道路工事で作業指揮を行う際、昼間と比べ特に強化すべき事項はどれか。

ア．作業員同士の連絡を減らす

イ．照明・反射材・合図の視認性、交通誘導、作業員位置の把握

ウ．照明を減らして一般車両のまぶしさだけを避ける

エ．重機と作業員を同じ通路で自由に移動させる

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。連絡体制を明確にする必要がある。

イ：正しい。夜間は視認性低下が大きなリスクとなるため、照明・誘導・反射材等を強化する。

ウ：誤り。必要照度とグレア対策を両立する。

エ：誤り。動線分離等を行う。

総合解説：夜間作業は視認性・疲労・一般交通との接触リスクが増すため、昼間以上に指揮・誘導を明確にする。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0021｜難易度：2

掘削中に土留め変位計が管理値を超えた場合の指揮として、最も適切なものはどれか。

ア．計測値を消去して作業を継続する

イ．作業を中止して作業員を安全区域へ退避させ、原因確認と安全確認後に再開判断する

ウ．作業速度を上げて早く完成させる

エ．管理値をその場で大きく変更する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。異常情報を隠してはならない。

イ：正しい。異常時は人命確保を優先し、計画した対応基準に従う。

ウ：誤り。危険を増大させる。

エ：誤り。管理値は恣意的に変更できない。

総合解説：安全管理では異常時の指揮権限と退避基準を事前に明確にしておく。

問題 0022｜難易度：3

クレーン揚重、バックホウ掘削、測量が同一ヤードで並行する場合の指揮として、最も適切なものはどれか。

ア．各班が独立して好きな時間に作業する

イ．各作業の責任者と全体調整者を明確にし、立入範囲・時間帯・合図系統を統一する

ウ．最も大きな機械の運転者が全体指揮を兼ねる

エ．作業員同士の接触が起きたらその都度調整する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。相互干渉による事故リスクが高い。

イ：正しい。複数作業が重なる場合は全体の統括調整が必要である。

ウ：誤り。正式な指揮系統を定める。

エ：誤り。事前調整が必要である。

総合解説：混在作業では各作業の安全管理に加えて、相互干渉を管理する統括的な指揮が重要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0023｜難易度：1

個人用保護具の選定として、最も適切なものはどれか。

ア．現場内ではすべて同じ保護具だけを使う

イ．作業で想定される危険・有害要因に適合する性能とサイズの保護具を選ぶ

ウ．着用感だけで選び性能は確認しない

エ．破損していても装着できれば使用する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。作業内容により必要な保護具は異なる。

イ：正しい。保護具は危険性に適した種類・性能・サイズを選定する。

ウ：誤り。必要性能を確認する。

エ：誤り。損傷した保護具は交換等が必要である。

総合解説：保護具は危険源除去等を補完する最後の防護手段であり、適切な選定・点検・着用が必要である。

問題 0024｜難易度：2

高さ2m以上の箇所で作業床の設置が困難な場合の墜落防止措置として、最も適切なものはどれか。

ア．ヘルメットだけで墜落防止とする

イ．熟練者だけなら何も設けない

ウ．防網の設置や要求性能墜落制止用器具の使用等、墜落防止措置を講じる

エ．作業時間が短ければ対策を省略する

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。ヘルメットは墜落そのものを防止しない。

イ：誤り。経験に関係なく必要な措置を講じる。

ウ：正しい。安衛則第518条は作業床が困難な場合に防網・墜落制止用器具等を求めている。

エ：誤り。短時間でも墜落リスクはある。

総合解説：高所作業ではまず作業床を設け、困難な場合に墜落制止用器具等で墜落を防止する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0025｜難易度：2

バックホウの旋回作業時の立入管理として、最も適切なものはどれか。

ア．旋回半径内に測量員を常時配置する

イ．オペレーターから見える範囲なら自由に立入可能とする

ウ．接触のおそれがある範囲を立入禁止とし、必要に応じて誘導者を配置する

エ．立入禁止表示を作業終了後に設置する

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。接触リスクが高い。

イ：誤り。死角や急な動作がある。

ウ：正しい。車両系建設機械との接触防止のため危険範囲への立入りを制限する。

エ：誤り。作業開始前に明示する。

総合解説：重機と人の接触災害防止では、動線分離・立入禁止・誘導の組合せが基本となる。

問題 0026｜難易度：2

上部作業から工具や小物が落下するおそれがある場所の下方で、最も適切な対策はどれか。

ア．落下物が軽ければ対策しない

イ．ヘルメットだけ着用して真下で作業する

ウ．落下防止措置を行い、危険範囲への立入を禁止し、必要な保護具を使用する

エ．上部作業者へ注意するだけで下方立入を許可する

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。小物でも高所からの落下は重大災害となり得る。

イ：誤り。ヘルメットだけでは十分でない。

ウ：正しい。落下物そのものを防止し、下方への立入りも管理する。

エ：誤り。物理的な防止・隔離が必要である。

総合解説：飛来落下対策は物の落下防止と人の立入防止を併用する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0027｜難易度：1

墜落制止用器具の使用前点検として、最も適切なものはどれか。

ア．フックの外れ止めが壊れていても使用する

イ．一度購入すれば点検不要とする

ウ．ベルト・縫製部・フック・ランヤード等に損傷や変形がないか確認する

エ．墜落履歴があっても外観がきれいなら無条件で再使用する

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。機能不良は危険である。

イ：誤り。日常点検が必要である。

ウ：正しい。墜落制止用器具は使用前に主要部の損傷・機能を確認する。

エ：誤り。墜落衝撃を受けた器具は適切に扱う必要がある。

総合解説：保護具は『着用しているか』だけでなく、正常に機能できる状態かを管理する。

問題 0028｜難易度：2

工事現場の資材置場へ一般人が容易に入れる状態になっている。最も適切な対応はどれか。

ア．注意看板1枚だけ置いてゲートは開放する

イ．夜間だけ危険なので昼間は開放する

ウ．仮囲い・ゲート・標識等で立入を管理し、第三者が危険区域へ入れないようにする

エ．一般人が自己責任で入るなら問題ないとする

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。侵入防止の実効性を確保する。

イ：誤り。昼間でも第三者災害は起こり得る。

ウ：正しい。第三者の危険区域への侵入を物理的・管理的に防止する。

エ：誤り。施工者には公衆災害防止の責務がある。

総合解説：立入管理は労働者だけでなく、公衆が工事区域へ誤進入しないように行う。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0029｜難易度：2

高所作業で全員がフルハーネス型墜落制止用器具を着用している。最も適切な安全管理はどれか。

ア．親綱設備がなくてもランヤードをどこにも掛けず作業する

イ．保護具を着用しているので開口部養生を撤去する

ウ．作業床・手すり等の設備対策を優先し、墜落制止用器具は必要に応じて併用する

エ．保護具を着用すれば足場点検は不要である

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。適切な取付設備が必要である。

イ：誤り。開口部防護を維持する必要がある。

ウ：正しい。墜落防止は設備対策を優先し、保護具を補完的に用いる。

エ：誤り。足場点検は別途必要である。

総合解説：個人用保護具だけに依存せず、設備・立入管理・作業手順を組み合わせた多重防護が重要である。

問題 0030｜難易度：3

夜間に深掘削部の近くでクレーン揚重を行う。最も適切な安全対策の組合せはどれか。

ア．照明を減らし各自の携帯ライトだけで作業する

イ．ヘルメットだけ着用し立入範囲は定めない

ウ．掘削端・吊荷経路の立入禁止、十分な照明、反射材、合図者、必要な保護具を組み合わせる

エ．吊荷下を最短通路として使用する

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。現場全体の照明が必要である。

イ：誤り。墜落・接触・吊荷災害を防げない。

ウ：正しい。複数危険源に対して立入管理・視認性・指揮・PPEを多重化する。

エ：誤り。吊荷下への立入りは危険である。

総合解説：複合リスク現場では単一対策ではなく、設備・管理・保護具を組み合わせて安全水準を高める。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0031｜難易度：1

高さ2m以上の箇所で墜落により労働者に危険を及ぼすおそれがある場合の基本措置として、最も適切なものはどれか。

ア．作業時間が10分以内なら対策不要とする

イ．熟練者だけなら作業床を設けない

ウ．足場を組み立てる等の方法により作業床を設ける

エ．ヘルメット着用だけで作業床に代える

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。短時間でも墜落危険はある。

イ：誤り。熟練度に関係なく必要な墜落防止措置を講じる。

ウ：正しい。安衛則第518条では高さ2m以上で墜落危険がある場合、原則として作業床を設ける。

エ：誤り。保護帽は作業床の代替にならない。

総合解説：高所作業では、まず作業床を確保し、困難な場合に防網や墜落制止用器具等の措置を講じる。

問題 0032｜難易度：1

高さ2m以上の作業床にある開口部の対策として、最も適切なものはどれか。

ア．昼間は見えるので何も設けない

イ．開口部に黄色テープだけ貼る

ウ．囲い・手すり・覆い等を設け、必要に応じ墜落制止用器具等も併用する

エ．作業員へ注意するだけでよい

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。視認できても墜落危険は残る。

イ：誤り。物理的な墜落防止には不十分である。

ウ：正しい。安衛則第519条では開口部等に囲い・手すり・覆い等を求めている。

エ：誤り。注意喚起だけでは不十分である。

総合解説：開口部は見落としや踏み外しによる墜落が起こりやすく、物理的な防護が基本となる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0033｜難易度：2

令和6年4月1日以降の足場に関する規定として、最も適切なものはどれか。

ア．一側足場はどの場所でも自由に使用できる

イ．幅が2m以上の場合だけ本足場を使用する

ウ．幅が1m以上ある箇所で足場を使用するときは、原則として本足場を使用する

エ．足場幅に関する規定はない

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。一側足場の使用範囲が明確化されている。

イ：誤り。基準は1m以上である。

ウ：正しい。改正安衛則により幅1m以上の箇所では原則本足場の使用が求められる。

エ：誤り。現行規定がある。

総合解説：一側足場からの墜落災害対策として、本足場を使用できる幅がある場所では原則本足場とする。

問題 0034｜難易度：2

足場の点検に関する現行ルールとして、最も適切なものはどれか。

ア．点検者は作業員が毎回自由に決める

イ．誰が点検したか記録する必要はない

ウ．事業者は足場点検を行う際に点検者を指名し、点検後は点検者氏名等を記録・保存する

エ．足場組立て後は一度点検すれば以後点検不要である

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。事業者が点検者を指名する。

イ：誤り。点検者氏名等の記録が必要である。

ウ：正しい。足場点検時の点検者指名と記録が義務化されている。

エ：誤り。悪天候後や変更後等、必要な点検を行う。

総合解説：足場点検は形式的なチェックではなく、責任ある点検者を明確にして実施する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0035｜難易度：2

足場の一部を盛替え・変更した後の対応として、最も適切なものはどれか。

ア．使用しながら異常があれば直す

イ．変更した作業員が覚えていれば点検不要とする

ウ．変更箇所を含め足場の状態を点検し、安全を確認してから使用する

エ．変更前に点検済みなら変更後は不要である

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。使用前に安全を確認する。

イ：誤り。変更で安全状態が変わる可能性がある。

ウ：正しい。足場の変更後は構造・手すり・固定状態等を再確認する。

エ：誤り。変更後の状態を点検する必要がある。

総合解説：足場は組立て・変更・悪天候後など状態が変化し得る場面で点検を行う。

問題 0036｜難易度：1

足場の作業床端部で墜落のおそれがある箇所の対策として、最も適切なものはどれか。

ア．端部に資材を置いて代用する

イ．ロープ1本だけ張る

ウ．手すり・中桟・幅木等、所定の墜落防止設備を確実に設ける

エ．作業員が注意すれば設備不要とする

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。資材は移動・転倒し危険である。

イ：誤り。十分な墜落防止設備とはいえない。

ウ：正しい。作業床端部には所定の墜落防止設備を設ける。

エ：誤り。設備による防護が必要である。

総合解説：高所作業では人の注意に依存せず、端部防護を物理的に確保する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0037｜難易度：2

足場上に資材を仮置きする場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア．資材を1箇所に集中させるほど安定する

イ．足場上なら数量に関係なく積める

ウ．足場の最大積載荷重を確認し、集中荷重にも注意して規定範囲内で配置する

エ．作業床が広ければ荷重確認は不要である

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。局部的な過大荷重となり得る。

イ：誤り。積載限度を守る必要がある。

ウ：正しい。過積載や局部集中荷重は足場損傷・倒壊につながる。

エ：誤り。荷重条件を確認する。

総合解説：足場は作業床としてだけでなく荷重を受ける仮設構造物であり、積載管理が重要である。

問題 0038｜難易度：2

足場への昇降方法として、最も適切なものはどれか。

ア．資材を持ったまま外側からよじ登る

イ．筋交いを足掛かりにして昇降する

ウ．安全な階段・はしご等の昇降設備を設け、足場部材をよじ登らせない

エ．昇降設備は高所作業者の経験に応じて省略できる

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。手がふさがり墜落リスクが高い。

イ：誤り。足場部材のよじ登りは危険である。

ウ：正しい。安全な昇降設備を設けて墜落を防止する。

エ：誤り。経験に関係なく安全設備を設ける。

総合解説：墜落災害は作業中だけでなく昇降時にも多いため、昇降経路を安全に計画する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0039｜難易度：2

強風が予想される日に足場上で大型シートを取り付ける作業を予定している。最も適切な対応はどれか。

ア．シートを広げたまま足場上で待機する

イ．作業員を増やせば強風でも安全に作業できる

ウ．風の影響と中止基準を確認し、危険がある場合は作業を延期・中止する

エ．風速は測定せず体感だけで判断する

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。危険が増大する。

イ：誤り。人数増加だけで風荷重はなくならない。

ウ：正しい。風を受けるシート作業は墜落・足場倒壊リスクが増えるため中止判断が重要である。

エ：誤り。客観的な条件を確認する。

総合解説：高所作業では気象条件を監視し、危険な強風・大雨等の際は作業中止を含めて判断する。

問題 0040｜難易度：2

建物外周足場の倒壊防止として、最も適切なものはどれか。

ア．メッシュシートを張れば壁つなぎは不要である

イ．作業性を優先して壁つなぎを任意に外す

ウ．壁つなぎ・控え等を所定位置に設け、無断で撤去しない

エ．足場高さが高いほど固定を減らす

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。シートは風荷重を増す場合があり、固定がより重要となる。

イ：誤り。倒壊の危険が増す。

ウ：正しい。足場の安定には建物等への確実な固定が重要である。

エ：誤り。高い足場ほど安定対策が重要である。

総合解説：足場の壁つなぎ等は構造安全を支える重要部材で、変更時には影響を確認する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0041｜難易度：1

足場の作業床上の管理として、最も適切なものはどれか。

ア．通路にケーブルを無造作に横断させる

イ．工具や材料を作業床端部へ置く

ウ．通路を確保し、資材・工具を整理してつまずきや落下を防止する

エ．不要材を作業床上に積み続ける

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。つまずきの原因となる。

イ：誤り。落下物災害の原因となる。

ウ：正しい。整理整頓はつまずき・墜落・飛来落下防止に有効である。

エ：誤り。通路確保と積載管理が必要である。

総合解説：高所では小さなつまずきが墜落につながるため、作業床の整理整頓が特に重要である。

問題 0042｜難易度：2

高所作業車を使用する際の基本的な安全管理として、最も適切なものはどれか。

ア．作業床を上げたまま高速移動する

イ．アウトリガー等が必要でも省略する

ウ．地盤状態・傾斜・障害物を確認し、作業床の定員・積載荷重・操作方法を守る

エ．架空線との離隔は確認しない

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。機種・条件に応じた安全な移動方法を守る。

イ：誤り。転倒防止設備を適切に使用する。

ウ：正しい。高所作業車の安定と周辺接触を防ぐ条件を確認する。

エ：誤り。感電・接触事故防止に重要である。

総合解説：高所作業車は墜落だけでなく転倒・架空線接触・一般交通との接触にも注意する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0043｜難易度：3

足場解体中、上層の手すりを先にすべて撤去しようとしている。最も適切な対応はどれか。

ア．作業員が慣れていれば防護不要とする

イ．解体作業なので手すりは最初に全て撤去する

ウ．墜落防護を確保できる順序で段階的に解体し、必要な墜落制止措置を講じる

エ．資材投下と同時に解体を進める

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。経験に関係なく必要な措置を講じる。

イ：誤り。無防護状態が長くなり危険である。

ウ：正しい。解体中も作業床端部の墜落リスクを管理する。

エ：誤り。飛来落下対策も必要である。

総合解説：足場の組立て・変更・解体は、完成状態より不安定な工程となるため、手順と墜落防止を明確にする。

問題 0044｜難易度：3

高さ8mの橋脚上で型枠調整を行う。最も適切な安全計画はどれか。

ア．昇降は型枠をよじ登る

イ．フルハーネスだけで全ての設備を省略する

ウ．安全な作業床・手すり・昇降設備を設け、必要に応じ墜落制止用器具、落下物防止、下方立入禁止を組み合わせる

エ．下方作業員へヘルメットを着用させるだけで上部工具の落下防止は行わない

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。安全な昇降設備が必要である。

イ：誤り。保護具だけに依存しない。

ウ：正しい。墜落・飛来落下を設備・保護具・立入管理で多重に防止する。

エ：誤り。落下防止と立入禁止が必要である。

総合解説：高所作業は墜落だけでなく、昇降・工具落下・下方第三者への影響まで一体で計画する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0045｜難易度：1

掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業について、最も適切なものはどれか。

ア．バックホウ運転者が自動的に作業主任者になる

イ．掘削深さに関係なく作業主任者は不要である

ウ．所定の技能講習修了者から地山の掘削作業主任者を選任し、作業を直接指揮させる

エ．作業員が2人以下なら選任不要である

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。所定資格が必要である。

イ：誤り。法令上の選任対象がある。

ウ：正しい。高さ2m以上の地山掘削では所定の作業主任者を選任する。

エ：誤り。人数だけで除外されない。

総合解説：地山掘削では作業主任者が作業方法を決定し、地山状態を確認しながら直接指揮する。

問題 0046｜難易度：2

深い掘削工事を開始する前の地山調査として、最も適切なものはどれか。

ア．掘削後に地質を確認すればよい

イ．土の色だけを見て安定性を判断する

ウ．地質・地層・亀裂・含水・地下水・埋設物・周辺荷重等を確認する

エ．地下水は崩壊に影響しないため調べない

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。掘削前に危険性を評価する。

イ：誤り。複数の地盤条件を確認する必要がある。

ウ：正しい。崩壊・湧水・土圧条件を評価するため事前調査が必要である。

エ：誤り。地下水は地山安定へ大きく影響する。

総合解説：掘削事故防止は掘削面の形状だけでなく、地盤・水・周辺荷重の事前把握から始まる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0047｜難易度：1

掘削溝で土止め支保工がまだ完成していない状態で床ならし作業を行う計画がある。最も適切な対応はどれか。

ア．掘削機のバケットで側壁を押さえれば安全とする

イ．短時間なら立ち入らせる

ウ．作業主任者がいなくても2人で作業させる

エ．崩壊のおそれがあるため、土止め支保工等の安全措置を完成させるまで作業員を立ち入らせない

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。正式な土止めの代替にならない。

イ：誤り。短時間でも崩壊は突発的に起こる。

ウ：誤り。必要な作業主任者・安全措置を確保する。

エ：正しい。厚労省災害事例でも土止め完成前の立入りが崩壊災害原因として挙げられている。

総合解説：掘削溝内作業は崩壊防止措置が機能した状態で行うことが基本である。

問題 0048｜難易度：2

掘削した土砂を掘削端の直近に高く積むことが危険な主な理由はどれか。

ア．地下水位が必ず低下するため

イ．掘削土が乾燥しすぎるため

ウ．作業員の歩行速度が上がるため

エ．上載荷重が増え、法面や土留めに作用する土圧・崩壊リスクを高めるため

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。必ず低下するわけではない。

イ：誤り。主要な崩壊理由ではない。

ウ：誤り。関係しない。

エ：正しい。掘削端近傍の荷重は地山・土留めの安定へ不利に作用する。

総合解説：掘削周辺では土砂・機械・資材などの上載荷重を考慮し、安全な離隔を確保する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0049｜難易度：3

大雨の翌朝、切土法面付近で作業を再開する。最も適切な対応はどれか。

ア．作業員を先に法面直下へ入れて様子を見る

イ．前日まで異常がなければ点検不要とする

ウ．表面が乾いていれば地山内部も安全と判断する

エ．亀裂・はらみ・湧水・落石・変位等を点検し、安全を確認してから作業を再開する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。危険確認前に立ち入らせない。

イ：誤り。降雨後は地山状態が変化している可能性がある。

ウ：誤り。内部水圧は外観だけで判断できない。

エ：正しい。降雨は地山の含水・間隙水圧を変化させ崩壊リスクを高めるため点検する。

総合解説：斜面崩壊は降雨後に遅れて発生する場合もあるため、再開前の点検が重要である。

問題 0050｜難易度：2

土止め支保工を伴う深掘削の施工として、最も適切なものはどれか。

ア．掘削深度が増えるほど支保工を減らす

イ．最終深度まで一気に掘削してから支保工を設置する

ウ．支保工設置前に長時間作業員を溝内へ入れる

エ．掘削進行に応じて所定の支保工を設置し、安定を確認しながら段階的に掘り進める

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。深くなるほど土圧等を適切に支える必要がある。

イ：誤り。途中段階で地山・土留めが不安定となる。

ウ：誤り。崩壊危険がある。

エ：正しい。掘削と支保工設置を連動させる。

総合解説：土止め施工では段階ごとの安定性を確保し、未完成状態で危険作業を行わない。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0051｜難易度：1

深い掘削部へ作業員が出入りする方法として、最も適切なものはどれか。

ア．法面を滑り降りる

イ．バックホウのバケットに乗せて降ろす

ウ．切梁を足場代わりにして自由に昇降する

エ．安全な昇降設備を設け、土止め支保工や機械をよじ登らせない

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。転落・崩落の危険がある。

イ：誤り。人の運搬方法として危険である。

ウ：誤り。支保工部材を昇降設備として無計画に利用しない。

エ：正しい。安全な昇降設備を確保する。

総合解説：掘削部では崩壊だけでなく、出入り時の墜落・転落も防止する必要がある。

問題 0052｜難易度：2

バックホウが掘削端付近を走行する場合の転落防止として、最も適切なものはどれか。

ア．後進時の誘導は不要である

イ．掘削端ぎりぎりを走行する

ウ．地盤状態に関係なく同じ経路を使用する

エ．路肩の崩壊防止・幅員確保を行い、必要に応じ誘導者を配置して安全な走行経路を定める

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。視界条件に応じて誘導が必要である。

イ：誤り。路肩崩壊により転落する危険がある。

ウ：誤り。降雨等で地盤状態は変化する。

エ：正しい。車両系建設機械の転倒・転落防止には路肩状態と誘導が重要である。

総合解説：安衛則では路肩崩壊防止や幅員保持等による車両系建設機械の転倒防止措置が求められる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0053｜難易度：2

市街地の深掘削で土留め壁の変位計測を行う主な目的として、最も適切なものはどれか。

ア．土留め計算を不要にするため

イ．完成後の写真枚数を増やすため

ウ．掘削深さを測らなくてよくするため

エ．異常変位を早期に把握し、崩壊や周辺影響の前に施工条件を見直すため

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。計測は設計・施工管理を補完する。

イ：誤り。写真管理が目的ではない。

ウ：誤り。出来形管理とは別である。

エ：正しい。計測値を安全管理へフィードバックする。

総合解説：深掘削では計測管理によって土留め・地盤の挙動を監視し、管理値に応じて対応する。

問題 0054｜難易度：3

地下水位の高い軟弱地盤で深さ5mの掘削を行い、掘削端近くにクレーンを設置する計画である。最も適切な考え方はどれか。

ア．土止め完成前にクレーンを最大荷重で使用する

イ．クレーン荷重は掘削安定と無関係とする

ウ．地下水が高いほど地山は安定すると判断する

エ．土圧・水圧・クレーン上載荷重・地盤支持力を一体で評価し、土留め・排水・クレーン配置を決める

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。土留め・地盤の安全を確保してから作業する。

イ：誤り。掘削端付近の上載荷重は土圧・安定へ影響する。

ウ：誤り。水圧上昇は不安定化要因となる。

エ：正しい。複数の荷重・地盤条件が相互に影響するため統合評価が必要である。

総合解説：掘削安全は地山だけでなく、地下水・周辺重機・仮設荷重を含めた全体系で評価する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0055｜難易度：1

移動式クレーンの作業計画で、あらかじめ検討すべき事項として最も適切なものはどれか。

ア．工事事務所の配置だけ

イ．クレーンの塗装色だけ

ウ．運転者の通勤経路だけ

エ．作業場所の広さ・地形・地質、荷の重量、クレーンの種類・能力、転倒防止方法、指揮系統

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。クレーン作業安全の主要条件ではない。

イ：誤り。揚重安全とは関係しない。

ウ：誤り。作業計画の主要事項ではない。

エ：正しい。クレーン則第66条の2に沿う主要事項である。

総合解説：クレーン作業は荷重・半径・地盤・配置・指揮を事前に計画し、関係者へ周知する。

問題 0056｜難易度：2

移動式クレーンで同じ吊荷を扱う場合、一般に作業半径が大きくなるとどうなるか。

ア．アウトリガーを出せば半径に関係なく最大能力となる

イ．定格荷重は必ず増加する

ウ．能力は作業半径に関係しない

エ．定格荷重が低下するため、能力表で安全に吊れるか再確認する必要がある

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。アウトリガー条件だけで最大能力にはならない。

イ：誤り。通常は逆である。

ウ：誤り。クレーン能力は半径・ブーム長等で変化する。

エ：正しい。作業半径増加により転倒モーメントが増え、一般に許容荷重は小さくなる。

総合解説：揚重計画では最大吊上げ能力ではなく、実際のブーム長・作業半径等に対応する定格荷重を確認する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0057｜難易度：2

軟弱な盛土地盤上にラフテレーンクレーンを設置する場合、最も適切な対応はどれか。

ア．地盤状態はクレーン転倒に影響しない

イ．アウトリガーを半分だけ出して作業する

ウ．沈下しても吊荷が軽ければ作業を続ける

エ．地盤支持力を確認し、必要に応じ敷鉄板等で反力を分散してアウトリガーを安定支持する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。地盤支持力は重要条件である。

イ：誤り。使用条件に従って適切に張り出す。

ウ：誤り。不同沈下は転倒につながる。

エ：正しい。アウトリガー反力に対して地盤が十分支持できるようにする。

総合解説：クレーン転倒防止では機械能力だけでなく、設置地盤の支持性能を確認する。

問題 0058｜難易度：2

鋼製部材を吊り上げる際の玉掛け用具選定として、最も適切なものはどれか。

ア．一点吊りが不安定でも必ず一点吊りとする

イ．見た目が細くても長さが合えば使用する

ウ．損傷したワイヤロープを短時間だけ使用する

エ．荷の質量・形状・重心・角部を考慮し、必要強度と長さを有する用具を選ぶ

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。荷の安定性を確保できる吊り方を選ぶ。

イ：誤り。強度確認が必要である。

ウ：誤り。損傷した用具は使用しない。

エ：正しい。荷の特性に適した強度・本数・掛け方を選定する。

総合解説：厚労省災害事例でも荷重・作業半径・地盤とともに適切な玉掛け用具選定の重要性が示されている。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0059｜難易度：1

クレーンで吊り上げた荷の下方に関する安全管理として、最も適切なものはどれか。

ア．ヘルメットがあれば吊荷下で作業できる

イ．合図者だけは常に吊荷直下に立つ

ウ．軽い荷なら吊荷下を通行してよい

エ．吊荷の落下等により危険が及ぶ範囲への立入りを禁止する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。保護帽だけでは十分でない。

イ：誤り。合図者も安全な位置から合図する。

ウ：誤り。軽量でも落下・振れの危険がある。

エ：正しい。吊荷落下時の重大災害を防ぐため危険範囲へ立ち入らせない。

総合解説：揚重作業では吊荷経路を明確にし、下方・周辺の立入管理を徹底する。

問題 0060｜難易度：2

長尺材をクレーンで吊る際に介添えロープを使用する主な目的はどれか。

ア．ワイヤロープの代わりに荷を支持するため

イ．吊荷重量を軽くするため

ウ．クレーン能力を増加させるため

エ．作業員が吊荷へ直接近づかずに回転・振れを制御するため

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。主吊り用具の代用ではない。

イ：誤り。重量は変わらない。

ウ：誤り。クレーン定格能力は変わらない。

エ：正しい。タグライン等で荷の姿勢を安全な距離から制御する。

総合解説：荷振れ・回転が予想される吊荷では、作業員が手で直接押さえず安全な制御方法を採用する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0061｜難易度：3

高圧架空線の近くでクレーンを使用する場合、最も適切な対策はどれか。

ア．夜間なら電線が見えにくいため近づいてもよい

イ．ブーム先端が電線に触れなければ近接距離は考えない

ウ．運転者が電線を見ていれば他の対策は不要である

エ．架空線位置・管理者・必要離隔を確認し、必要に応じ防護・高さ制限・監視員等を設ける

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。夜間はむしろ視認性対策が必要である。

イ：誤り。放電・アーク等も考慮して必要離隔を確保する。

ウ：誤り。死角や吊荷対応があり運転者だけに依存できない。

エ：正しい。感電・停電等の公衆災害を防ぐため事前確認と物理・管理対策を行う。

総合解説：架空線近接作業は労働災害と公衆災害の双方につながるため、作業計画で重点管理する。

問題 0062｜難易度：3

8tの部材を狭い現場で吊り上げる。クレーンは掘削端近くに設置し、架空線もある。最も適切な計画はどれか。

ア．掘削端に最も近い位置ほど作業半径が小さいので安全とする

イ．吊荷重量だけ確認して作業する

ウ．クレーン能力に余裕があれば地盤・架空線は確認しない

エ．荷重・半径・地盤・掘削端安定・架空線離隔・吊荷経路・立入禁止を一体で検討する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。掘削端地盤が破壊する危険がある。

イ：誤り。安全条件が不足している。

ウ：誤り。地盤・架空線は独立した重大リスクである。

エ：正しい。複数の転倒・接触・公衆災害リスクを統合して計画する。

総合解説：揚重計画ではクレーン能力だけでなく、設置地盤・周辺構造・架空線・人の動線を含めた総合評価が必要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0063｜難易度：1

建設工事公衆災害防止対策要綱の主な目的として、最も適切なものはどれか。

ア．施工会社の広告効果を高めること

イ．工事原価を最低にすることだけ

ウ．作業員の賃金を決めること

エ．工事関係者以外の第三者の生命・身体・財産に対する危害や迷惑を防止すること

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。広報制度ではない。

イ：誤り。原価低減だけが目的ではない。

ウ：誤り。労務管理の制度ではない。

エ：正しい。公衆災害防止対策要綱は工事関係者以外の第三者に対する危害・迷惑の防止を目的としている。

総合解説：公衆災害防止では、工事区域内の労働者安全だけでなく、歩行者・住民・一般車両・周辺財産への影響を管理する。

問題 0064｜難易度：1

市街地の工事現場で第三者が誤って作業区域へ立ち入るおそれがある場合、最も適切な対策はどれか。

ア．第三者が入った場合だけ注意する

イ．工事看板だけ設置しゲートを常時開放する

ウ．夜間だけ閉鎖し昼間は自由に通行させる

エ．仮囲い・ゲート・標識等を設け、出入口を管理して第三者の侵入を防止する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。事前防止が必要である。

イ：誤り。物理的な侵入防止が必要となる。

ウ：誤り。昼間でも危険がある。

エ：正しい。工事区域と公衆区域を明確に分離し、誤進入を防止する。

総合解説：工事区域の境界管理は公衆災害防止の基本であり、特に子どもや通行人が誤進入しない実効性が必要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0065｜難易度：2

歩道に隣接する高所作業で工具や小物の落下が懸念される。最も適切な対策はどれか。

ア．作業員へ注意するだけで歩道を開放する

イ．歩行者へ上を見ながら通行してもらう

ウ．工具が小さいので対策しない

エ．工具の落下防止、朝顔・防護棚等の設置、必要な通行規制や誘導を組み合わせる

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。物理的防護や通行管理が必要である。

イ：誤り。歩行者の注意に依存するのは不十分である。

ウ：誤り。小物でも高所から落下すれば重大事故になり得る。

エ：正しい。落下防止と第三者の危険区域からの分離を多重に行う。

総合解説：第三者災害では落下物を発生させない対策と、万一落下しても公衆へ到達させない対策を重ねる。

問題 0066｜難易度：2

大型ダンプが頻繁に出入りする工事現場の出入口で、最も適切な安全対策はどれか。

ア．見通しが悪くても誘導員は不要とする

イ．ダンプを優先し歩行者に避けてもらう

ウ．出入口では徐行せず道路へ速やかに進入する

エ．歩行者・自転車・一般車両との交錯を確認し、必要に応じ誘導員・ミラー・一時停止等を設ける

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。見通し不良時は誘導等が重要である。

イ：誤り。公衆の安全を確保する必要がある。

ウ：誤り。安全確認・徐行が必要である。

エ：正しい。工事車両と第三者交通の交錯を管理する。

総合解説：工事車両出入口は公衆災害が起こりやすい境界部であり、第三者優先の安全確認を徹底する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0067｜難易度：2

住宅地で夜間に騒音・振動を伴う作業を計画する場合、最も適切な対応はどれか。

ア．工程優先で連続施工する

イ．夜間は住民が屋内にいるため騒音対策は不要とする

ウ．苦情が出るまで何も周知しない

エ．関係法令・周辺状況を確認し、低騒音工法、施工時間調整、事前周知、必要な測定等を検討する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。法令・周辺条件を考慮する。

イ：誤り。夜間はむしろ生活環境への影響が大きい。

ウ：誤り。予防的な周知・対策が望ましい。

エ：正しい。周辺住民への迷惑・健康影響を抑える施工計画が必要である。

総合解説：公衆災害防止には人的・物的事故だけでなく、騒音・振動等の迷惑防止も含まれる。

問題 0068｜難易度：3

既設家屋に近接して地下水位を低下させながら掘削する。最も適切な公衆災害防止策はどれか。

ア．工事前の家屋状態を記録しない

イ．家屋にひび割れが出るまで計測しない

ウ．地下水低下は周辺地盤へ影響しないとする

エ．地下水位・地盤沈下・周辺家屋変位を必要に応じ計測し、管理値に応じて排水・施工方法を見直す

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。工事前状態の記録が影響評価に重要である。

イ：誤り。予防的な監視が必要である。

ウ：誤り。地盤条件によって沈下影響がある。

エ：正しい。地下水低下による有効応力変化が周辺沈下を生じる可能性がある。

総合解説：近接施工では第三者財産への影響を事前調査・計測・管理値により管理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0069｜難易度：1

夜間に道路沿いの工事現場を閉鎖している場合でも必要な対策として、最も適切なものはどれか。

ア．工事区域への進入口を暗くして目立たなくする

イ．作業していないので照明・標示を全て撤去する

ウ．一般車両のヘッドライトだけに頼る

エ．仮囲い・保安施設・段差等が一般交通から確認できるよう照明・反射材等で視認性を確保する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。誤進入リスクを高める。

イ：誤り。夜間通行者への危険が残る。

ウ：誤り。十分な視認性を確保する必要がある。

エ：正しい。夜間は工事区域の境界や障害物を明確にする必要がある。

総合解説：夜間の公衆災害防止では工事区域・保安施設の視認性を確保し、一般交通に早期認知させる。

問題 0070｜難易度：1

通行規制や騒音が地域住民へ影響する工事で、事前周知を行う主な目的として最も適切なものはどれか。

ア．工事内容・期間・規制・連絡先等を知らせ、第三者の安全確保と混乱・苦情の予防につなげる

イ．工事費を公開することだけ

ウ．住民に施工方法を決定してもらうこと

エ．法令上の安全対策を住民へ委ねること

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。工事影響を事前に共有することで安全な通行・生活調整に役立つ。

イ：誤り。工事費公開だけが目的ではない。

ウ：誤り。施工責任を移すものではない。

エ：誤り。施工者側の安全責務は残る。

総合解説：第三者に影響する工事では、物理的対策に加えて適切な情報提供も重要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0071｜難易度：2

工事車両が現場から公道へ泥を持ち出して路面が滑りやすくなっている。最も適切な対応はどれか。

ア．タイヤ洗浄・路面清掃を行い、一般交通の安全を確保する

イ．雨が降れば流れるので放置する

ウ．工事車両だけ徐行すれば一般車両への対策は不要とする

エ．泥の上に砂を撒いて標識なしで放置する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。公道の汚損・滑走危険を除去する必要がある。

イ：誤り。二輪車等の事故原因となる。

ウ：誤り。一般交通への危険を解消する必要がある。

エ：誤り。適切な清掃・安全措置が必要である。

総合解説：工事区域外へ影響が及ぶ場合も公衆災害防止の対象であり、道路汚損を速やかに処理する。

問題 0072｜難易度：2

ダンプトラックで土砂を公道運搬する場合、最も適切な対策はどれか。

ア．過積載を避け、荷台からの落下・飛散を防止し、必要な覆い等を用いる

イ．荷台から少しはみ出す程度なら積載量制限を超えてよい

ウ．走行中に土砂が落下しても後続車が避ければよい

エ．運搬距離が短ければ荷崩れ対策は不要とする

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。積載・飛散・落下防止を行い一般交通への危険を防ぐ。

イ：誤り。過積載や荷崩れは危険である。

ウ：誤り。道路上への落下物は重大事故につながる。

エ：誤り。距離に関係なく対策する。

総合解説：資材運搬では現場内だけでなく、公道上の第三者安全を確保する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0073｜難易度：2

工事中に仮囲いの一部が強風で道路側へ傾き、倒壊のおそれが生じた。最も適切な初動はどれか。

ア．直ちに危険範囲を規制し第三者を近づけず、仮囲いを安全な状態へ復旧する

イ．倒れるまで交通を続ける

ウ．作業員だけ避難し一般交通はそのままとする

エ．写真を撮ることを優先して規制を後回しにする

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。第三者への危険を即時に遮断し、二次災害防止を優先する。

イ：誤り。倒壊前に危険を除去する。

ウ：誤り。公衆安全も確保する必要がある。

エ：誤り。まず危険区域の安全確保を行う。

総合解説：公衆災害の異常時は人の隔離と危険源の安定化を優先し、その後に記録・報告する。

問題 0074｜難易度：3

駅前で深掘削・クレーン・大型車搬入を伴う工事を行う。最も適切な第三者災害防止計画はどれか。

ア．歩行者動線、車両出入口、飛来落下、掘削部、揚重範囲、夜間視認性を一体で整理し、仮囲い・誘導・規制を計画する

イ．工事区域内の作業員安全だけを管理する

ウ．交通量が多いので工事車両を一般交通より優先する

エ．第三者の安全は警備員だけに任せる

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。都市部では複数の第三者リスクを統合管理する必要がある。

イ：誤り。公衆区域への影響も管理対象である。

ウ：誤り。一般交通の安全を確保する。

エ：誤り。施工計画・仮設・誘導を組織的に管理する。

総合解説：公衆災害防止は仮囲いだけでなく、施工手順・物流・揚重・交通を第三者の視点で見直す。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0075｜難易度：1

供用道路上で工事を行う場合の基本的な交通安全対策として、最も適切なものはどれか。

ア．必要な道路使用・占用等の条件を確認し、標識・保安施設・誘導等で安全な通行を確保する

イ．工事車両だけ通れれば一般交通は考慮しない

ウ．規制区間は標識を設置しなくてもよい

エ．許可条件は施工後に確認する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。道路上工事では法令・許可条件に従い一般交通の安全を確保する。

イ：誤り。一般交通への安全確保が必要である。

ウ：誤り。規制を事前に認知させる必要がある。

エ：誤り。施工前に確認する。

総合解説：道路上工事では作業区域と一般交通区域を明確に分け、予告・誘導・防護を計画する。

問題 0076｜難易度：2

片側交互通行を行う道路工事で交通誘導員を配置する主な目的として、最も適切なものはどれか。

ア．対向交通・歩行者・工事車両を調整し、安全かつ円滑に通行させる

イ．一般車両をできるだけ長時間停止させる

ウ．工事車両だけを優先させる

エ．標識を見なくてもよいようにする

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。交通の衝突・混乱を防ぎ安全に切り替える。

イ：誤り。必要以上の滞留は避ける。

ウ：誤り。一般交通の安全と円滑性を確保する。

エ：誤り。保安施設と誘導は併用する。

総合解説：交通誘導は人による調整であり、標識・バリケード等の物理的対策と組み合わせる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0077｜難易度：2

歩道の一部を工事占用する場合、最も適切な対応はどれか。

ア．歩行者が安全に通行できる仮通路を確保し、段差・幅員・車道との分離等を管理する

イ．歩行者を車道へ自由に誘導する

ウ．車いす利用者等の通行性は考慮しない

エ．仮通路に資材を仮置きする

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。歩行者の安全な迂回・通行空間を確保する。

イ：誤り。車両との接触リスクを高める。

ウ：誤り。多様な通行者に配慮する。

エ：誤り。通路を常時確保する。

総合解説：歩行者通路は単に通れるだけでなく、段差・視認性・防護・バリアフリーにも配慮する。

問題 0078｜難易度：1

道路工事の交通規制で、規制箇所の手前から予告標識等を設置する主な理由はどれか。

ア．運転者へ早期に工事・車線規制を認知させ、安全な減速・車線変更を促すため

イ．工事区域を長く見せるため

ウ．工事費を増やすため

エ．作業員が休憩場所を確保するため

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。一般車両へ十分な認知・判断時間を与える。

イ：誤り。視認性・安全が目的である。

ウ：誤り。費用増加が目的ではない。

エ：誤り。休憩施設ではない。

総合解説：交通規制は運転者の認知・判断・操作時間を見込み、突然の障害物とならないようにする。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0079｜難易度：2

一般道路に面する狭い現場へ大型トラックを後退入場させる場合、最も適切な方法はどれか。

ア．歩行者・車両を確認できる誘導員を配置し、運転者と合図方法を統一して後退する

イ．運転者のバックミラーだけで後退する

ウ．歩行者が避けることを前提とする

エ．誘導員はトラック直後に立って合図する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。死角を補う位置に誘導員を配置し安全確認する。

イ：誤り。大型車には大きな死角がある。

ウ：誤り。第三者の安全を施工者側で確保する。

エ：誤り。巻き込まれない安全な位置から誘導する。

総合解説：工事車両の後退は第三者接触事故の危険が高く、誘導と動線分離が重要である。

問題 0080｜難易度：3

車線規制内で高所作業車を使用しているが、作業床が一般車線側へはみ出す可能性がある。最も適切な対策はどれか。

ア．作業床の可動範囲を確認し、一般交通区域へはみ出さない配置・ストッパー・監視等を行う

イ．一般車両が避けると考えてそのまま作業する

ウ．作業床だけなら規制帯外へ出ても問題ない

エ．夜間なら見えにくいので作業範囲を広げる

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。機械の一部も一般交通と接触しないよう規制帯内へ管理する。

イ：誤り。重大な公衆災害となる。

ウ：誤り。作業床も機械の一部であり接触防止が必要である。

エ：誤り。夜間は視認性が低下し危険が増す。

総合解説：国交省の事故資料でも高所作業車の作業床が規制帯を越えて一般車両と接触した事例がある。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0081｜難易度：2

資材搬入車両が予定より早く到着し、現場内に待機場所がない。最も適切な対応はどれか。

ア．公道上の交通を妨げない待機場所・時間調整を事前に定め、無秩序な路上待機を避ける

イ．現場前の車線にハザードを点けて待機させる

ウ．歩道上へ乗り上げて待機させる

エ．交差点付近に並ばせる

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。搬入予約・待機場所調整により公衆交通への支障を防ぐ。

イ：誤り。一般交通を阻害する。

ウ：誤り。歩行者安全を損なう。

エ：誤り。交通事故・渋滞の原因となる。

総合解説：資材搬入計画は現場内だけでなく、公道上の待機・進入まで含めて管理する。

問題 0082｜難易度：1

工事車両から油が公道へ漏れて路面が滑りやすくなった。最も適切な対応はどれか。

ア．交通への危険を防止する措置を行い、漏油を回収・清掃して必要な連絡を行う

イ．自然に乾くまで放置する

ウ．工事車両だけ注意して走行させる

エ．砂を少量撒くだけで標示せず終了する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。第三者交通への滑走危険を直ちに除去する。

イ：誤り。事故につながる可能性がある。

ウ：誤り。一般交通の安全確保が必要である。

エ：誤り。適切な処理と安全措置が必要である。

総合解説：公道上の油・泥・落下物は工事区域外でも公衆災害の原因となるため速やかに処理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0083｜難易度：2

工事進捗により歩行者通路と車線規制位置を翌日から変更する。最も適切な対応はどれか。

ア．保安施設・標識・誘導配置を新しい規制に合わせ、作業員・誘導員へ変更内容を周知してから切り替える

イ．現場到着した誘導員が各自判断して変更する

ウ．標識は旧配置のままにする

エ．歩行者への案内は不要とする

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。規制変更は交通流を変えるため事前の配置・周知が必要である。

イ：誤り。指示不統一の危険がある。

ウ：誤り。誤誘導の原因となる。

エ：誤り。安全な迂回案内が必要である。

総合解説：交通規制は施工手順に応じて変化するため、切替時の混乱を防ぐ計画が重要である。

問題 0084｜難易度：3

交通量の多い幹線道路で昼夜連続の掘削工事を行う。最も適切な交通計画はどれか。

ア．交通量・視認性・作業範囲を踏まえ、規制方式、標識、照明、誘導、歩行者通路、工事車両出入口を工程と連動させる

イ．昼夜同じ配置を無条件に使用する

ウ．作業効率を優先し規制帯を最小限にして重機を一般車線へはみ出させる

エ．交通誘導は工事開始後に考える

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。時間帯ごとの交通条件と施工段階を統合して計画する。

イ：誤り。夜間は視認性等の条件が変わる。

ウ：誤り。一般交通との接触危険がある。

エ：誤り。施工前に計画する。

総合解説：道路工事では交通処理も施工計画の一部であり、工程変更時は交通安全計画も更新する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0085｜難易度：1

埋設物が予想される場所で掘削する場合の事前確認として、最も適切なものはどれか。

ア．管理者の台帳等を確認し、必要に応じ試掘して種類・位置・深さ・規格等を確認する

イ．図面に記載がなければ存在しないと判断する

ウ．重機で掘削しながら接触したら確認する

エ．埋設物の種類だけ確認し位置は調べない

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。公衆災害防止対策要綱は台帳に基づく試掘等により埋設物を確認する考え方を示している。

イ：誤り。現況と図面が異なる場合がある。

ウ：誤り。損傷事故につながる。

エ：誤り。平面位置・深さ等の確認が必要である。

総合解説：地下埋設物事故防止では既存資料と現地確認を組み合わせ、施工前に位置を確定する。

問題 0086｜難易度：2

重要なガス管に近接して掘削する場合、最も適切な対応はどれか。

ア．埋設物管理者と施工方法・防護・立会い・緊急連絡等を事前に協議する

イ．施工者だけで離隔を推定する

ウ．管理者への連絡は損傷後に行う

エ．ガス管付近でも機械掘削だけで位置を確認する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。重要埋設物は管理者との協議と現地確認が重要である。

イ：誤り。管理者情報を活用する必要がある。

ウ：誤り。事故前に協議する。

エ：誤り。損傷防止のため慎重な確認が必要である。

総合解説：埋設物管理者との協議は、事故防止だけでなく損傷時の緊急対応を迅速にする。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0087｜難易度：2

試掘で電力ケーブルの位置を確認した後、その近傍を掘削する場合の対応として最も適切なものはどれか。

ア．位置を明示し、必要な離隔・人力掘削・防護等を管理者と確認して慎重に施工する

イ．位置が分かったので重機で直接ケーブル上を掘る

ウ．埋設表示を撤去して施工する

エ．運転者だけに口頭で伝え、他の作業員へは知らせない

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。確認後も損傷防止措置と関係者周知が必要である。

イ：誤り。接触・切断事故の危険がある。

ウ：誤り。位置表示を維持する。

エ：誤り。関係作業員全体へ共有する。

総合解説：埋設物確認はスタートであり、近接施工中も位置表示・防護・作業方法を維持する。

問題 0088｜難易度：1

架空線近接作業の事前調査として、最も適切なものはどれか。

ア．架空線の種類・位置・高さ・管理者を確認し、使用機械の最大高さと必要離隔を照合する

イ．電線が見えていれば高さ測定は不要である

ウ．作業員が目測で離隔を判断する

エ．クレーンを設置した後に初めて確認する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。機械の可動範囲と架空線条件を事前に照合する。

イ：誤り。定量的な確認が必要である。

ウ：誤り。目測だけでは不十分である。

エ：誤り。施工計画前に確認する。

総合解説：架空線事故はブーム・荷・ダンプ荷台等の上空施設接触で生じるため、最大到達高さを考慮する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0089｜難易度：2

架空線下をダンプトラックが通行する現場で、荷台を上げたまま進入する事故を防ぐ対策として有効なものはどれか。

ア．高さ制限設備や注意標示を設け、荷台を下げた状態で通過する手順を徹底する

イ．運転者の記憶だけに任せる

ウ．架空線を見えにくくする

エ．車両速度を上げて短時間で通過する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。物理的な高さ制限と作業手順で誤進入を防止する。

イ：誤り。ヒューマンエラーを防げない。

ウ：誤り。視認性を高める必要がある。

エ：誤り。接触リスクは解消しない。

総合解説：架空線事故防止ではストッパー・高さ制限・監視員・絶縁防護等、現場条件に応じた対策を組み合わせる。

問題 0090｜難易度：3

掘削中に不明な配管を損傷し、内容物が漏れ始めた。最も適切な初動はどれか。

ア．作業を中止して危険範囲を隔離し、埋設物管理者・関係機関へ連絡して指示に従う

イ．漏れを作業員が素手で塞いで作業を継続する

ウ．管種を確認せず土で埋め戻す

エ．公衆に知らせず翌日まで放置する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。二次災害を防ぎ、専門管理者と連携して対応する。

イ：誤り。有害物・ガス・感電等の危険がある。

ウ：誤り。危険性を確認せず隠蔽してはならない。

エ：誤り。公衆安全と施設復旧のため速やかな対応が必要である。

総合解説：埋設物損傷時は内容物が不明でも最悪ケースを想定し、隔離・通報・専門対応を優先する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0091｜難易度：3

当初は小型機械で施工予定だったが、大型バックホウへ変更することになった。現場上空に架空線がある。最も適切な対応はどれか。

ア．新しい機械の最大高さ・旋回範囲を踏まえて架空線リスクを再評価し、必要な高さ制限・誘導等を変更する

イ．作業内容が同じなので安全対策は変更しない

ウ．大型機械の方が安定するため架空線対策を減らす

エ．オペレーターだけに注意させる

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。機械変更で到達範囲が変わるため安全計画を見直す。

イ：誤り。危険範囲が変化する可能性がある。

ウ：誤り。架空線接触リスクは別問題である。

エ：誤り。物理的・管理的対策を検討する。

総合解説：作業条件・機械変更時は、地下・上空施設との干渉条件も再確認する。

問題 0092｜難易度：3

市街地道路で掘削とクレーン作業を同時に行う。地下にガス管、上空に高圧線がある場合の最も適切な施工計画はどれか。

ア．地下埋設物の試掘・防護・管理者協議と、架空線の離隔・高さ制限・クレーン作業範囲を一体で計画する

イ．地下と上空は別問題なので現場で個別判断する

ウ．クレーン運転者だけに全リスク管理を任せる

エ．施工速度を上げて危険区域にいる時間を短くする

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。地下・上空の公衆施設リスクを施工手順と機械配置へ統合する。

イ：誤り。作業が同時なら相互干渉も含めて計画する必要がある。

ウ：誤り。組織的な作業計画・指揮が必要である。

エ：誤り。速度だけでは重大リスクを低減できない。

総合解説：都市土木では地下埋設物・架空線・交通が同時に存在することが多く、事前調査と統合施工計画が事故防止の鍵となる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0093｜難易度：1

指定地域内の特定建設作業で敷地境界の騒音を管理する場合、規制基準として採用すべき値の考え方はどれか。

ア．75dB：振動側の特定建設作業基準を騒音へ当てはめる考え方

イ．80dB：特定建設作業の騒音基準を80dBとみなす考え方

ウ．85dB：特定建設作業の騒音基準として適用する考え方

エ．90dB：85dBの基準へ5dBの余裕を加えてよいとする考え方

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。75dBは特定建設作業の振動基準として扱われる値である。

イ：誤り。法令上の騒音基準値ではない。

ウ：正しい。特定建設作業の騒音は敷地境界において85dBを超えないこととされている。

エ：誤り。基準値を超えている。

総合解説：特定建設作業では騒音85dB、振動75dBという区別が頻出論点となる。いずれも指定地域・対象作業等の条件を確認して適用する。

問題 0094｜難易度：1

振動規制法に基づく特定建設作業の振動について、敷地境界における基準として適切なものはどれか。

ア．65dB：特定建設作業の振動基準を65dBとみなす考え方

イ．70dB：特定建設作業の振動基準を70dBとみなす考え方

ウ．75dB：特定建設作業の振動基準として適用する考え方

エ．85dB：騒音側の特定建設作業基準を振動へ当てはめる考え方

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。法令上の基準値ではない。

イ：誤り。法令上の基準値ではない。

ウ：正しい。特定建設作業の振動は敷地境界で75dBを超えないこととされる。

エ：誤り。85dBは特定建設作業の騒音基準として扱われる。

総合解説：騒音と振動の数値を取り違えないことが重要である。振動は75dB、騒音は85dBが基本値となる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0095｜難易度：2

住宅地に隣接する掘削工事で騒音を低減する対策として、最も適切なものはどれか。

ア．苦情が出るまで通常機械を最大出力で連続運転する

イ．低騒音型機械や低騒音工法を選び、不要なアイドリングや集中稼働を避ける

ウ．防音対策は周辺住民側に委ねる

エ．騒音測定を行えば発生源対策は不要とする

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。予防的な環境管理にならない。

イ：正しい。発生源そのものの低減と稼働方法の工夫は基本的な騒音対策である。

ウ：誤り。施工者側で必要な環境保全措置を講じる。

エ：誤り。測定は状況把握の手段であり、必要な低減対策を代替しない。

総合解説：騒音対策は低騒音機械・工法の選定、機械配置、稼働時間、遮音等を組み合わせて行う。

問題 0096｜難易度：2

病院に近接して杭施工を行う。振動対策として最も適切な考え方はどれか。

ア．病院内で感じなければ敷地境界の振動は管理しない

イ．低振動工法の採用、施工機械の配置・稼働時間の調整、必要な振動監視を検討する

ウ．施工速度を上げれば振動は必ず小さくなる

エ．夜間に施工すれば振動影響は小さくなる

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。法令・周辺環境の双方を考慮する必要がある。

イ：正しい。受振側が敏感な施設では発生源・伝播・時間帯・監視を一体で検討する。

ウ：誤り。施工速度と振動は単純な関係ではない。

エ：誤り。夜間は生活環境上の影響がむしろ大きくなる場合がある。

総合解説：病院・学校等の近接施工では、基準遵守だけでなく施設利用への影響を考えた低振動化が重要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0097｜難易度：2

騒音源と住宅の間に仮設防音壁を設置する場合の基本的な考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．騒音源からできるだけ離れた住宅側に低い壁を置けば必ず最大効果となる

イ．騒音源と受音点の見通しを遮るよう、隙間を抑えて適切な位置・高さで設置する

ウ．防音壁に大きな開口を設けるほど遮音効果が高まる

エ．機械より低い壁でも設置すれば位置は関係ない

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。騒音源・受音点との位置関係で効果が変わる。

イ：正しい。遮音では音の直接伝播を遮る配置と隙間管理が重要である。

ウ：誤り。開口・隙間は遮音効果を低下させる。

エ：誤り。高さ・位置は重要な設計要素である。

総合解説：防音壁は発生源対策を補完する伝播経路対策で、位置・高さ・連続性を適切に計画する。

問題 0098｜難易度：2

騒音・振動計を周辺住宅側に設置して連続監視する主な目的として、最も適切なものはどれか。

ア．測定値が高い場合に記録を削除するため

イ．施工による環境影響を把握し、管理値への接近や異常時に施工条件を見直すため

ウ．測定器を設置すれば低騒音機械は不要になるため

エ．工事完成後の写真枚数を増やすため

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。高値も重要な管理情報として扱う。

イ：正しい。モニタリングは影響把握と施工へのフィードバックに用いる。

ウ：誤り。監視と発生源対策は併用する。

エ：誤り。写真管理が目的ではない。

総合解説：環境監視は基準超過を発見するだけでなく、悪化傾向を早期に把握して予防的に施工を調整するために行う。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0099｜難易度：3

近隣住民から『夕方になると振動が強く感じる』との苦情が寄せられた。最も適切な対応はどれか。

ア．法令基準内なら調査せず無視する

イ．作業内容・時間帯・測定値を確認し、発生源を特定して必要な工法・機械・時間帯の見直しを行う

ウ．住民の感覚の問題として記録しない

エ．苦情が増えるまで同じ施工を続ける

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。基準内でも生活環境への影響が問題となることがある。

イ：正しい。苦情の時間帯と施工記録を照合し、実態を確認して必要な対策を講じる。

ウ：誤り。環境管理上の重要情報として記録する。

エ：誤り。早期対応が望ましい。

総合解説：環境苦情は施工条件との関連を客観的に確認し、必要な低減対策へつなげる。

問題 0100｜難易度：2

同じ騒音レベルの発電機を住宅側境界から離れた位置へ移設する効果として、一般に最も適切なものはどれか。

ア．距離を離すほど必ず振動が増加する

イ．受音点までの距離が増えることで、住宅側の騒音低減が期待できる

ウ．配置位置は騒音伝播に関係しない

エ．機械を住宅側へ近づけるほど騒音は小さくなる

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。一般化できない。

イ：正しい。距離減衰を利用した配置対策は基本的な騒音低減手段の一つである。

ウ：誤り。距離は騒音伝播に影響する。

エ：誤り。通常は逆方向の効果となる。

総合解説：発生源を受音点から離す、遮蔽物を配置する、稼働を集中させない等、現場配置でも環境負荷を低減できる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0101｜難易度：3

住宅密集地で鋼矢板を施工する計画があり、騒音・振動への懸念が大きい。最も適切な検討はどれか。

ア．最も施工速度が速い工法だけを選ぶ

イ．施工条件を満たす範囲で圧入等の低騒音・低振動工法を比較し、工程・地盤条件・周辺影響を総合評価する

ウ．住民への影響は施工後に評価する

エ．騒音だけ低ければ振動は評価しない

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。環境影響を含めて評価する必要がある。

イ：正しい。環境性能だけでなく施工性・地盤適用性・工程を総合して工法を選ぶ。

ウ：誤り。施工前に予測・対策を行う。

エ：誤り。騒音と振動の双方を確認する。

総合解説：環境制約が大きい市街地では、工法選定そのものを環境対策と位置付けることが重要である。

問題 0102｜難易度：1

騒音・振動の環境管理として、最も適切な考え方はどれか。

ア．基準値を下回れば近隣への配慮は一切不要である

イ．法令上の基準を守るだけでなく、周辺施設・時間帯に応じて自主的な低減目標を設定することがある

ウ．苦情がない限り測定は無意味である

エ．環境管理は工事完成後にだけ実施する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。生活環境への実際の影響も考慮する。

イ：正しい。周辺環境に応じて基準より厳しい管理目標を設定することは有効である。

ウ：誤り。予防的監視に意味がある。

エ：誤り。施工中に管理する。

総合解説：法令遵守は最低条件であり、学校・病院・住宅等の周辺状況に応じた低減管理が実務上重要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0103｜難易度：1

乾燥した工事用道路で土砂運搬車両による粉じんが多い場合、最も適切な対策はどれか。

ア．車両速度を上げて滞在時間を短くする

イ．散水、走行速度管理、路面清掃等を行って粉じん発生を抑える

ウ．乾燥するほど散水を減らす

エ．粉じんが住宅へ到達してから対策する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。速度増加で巻上げが大きくなることがある。

イ：正しい。路面の乾燥・車両走行による粉じんを発生源で抑える。

ウ：誤り。乾燥時ほど粉じん対策が重要である。

エ：誤り。予防的に対策する。

総合解説：工事現場の粉じん対策では散水・清掃・速度管理・覆い等を組み合わせる。

問題 0104｜難易度：1

乾燥土砂をダンプトラックで公道運搬する際の粉じん・飛散対策として、最も適切なものはどれか。

ア．荷台いっぱいを超えて積載する

イ．積載量を適正にし、必要に応じ荷台を覆い、出入口ではタイヤ洗浄・清掃を行う

ウ．荷台を開放したまま高速走行する

エ．公道へ土砂が落ちても雨で流れるまで放置する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。飛散・落下・過積載の危険が増える。

イ：正しい。積載・覆い・車輪洗浄・道路清掃で場外飛散を防ぐ。

ウ：誤り。粉じん・落下物が増える。

エ：誤り。第三者交通や生活環境に影響する。

総合解説：工事区域外への粉じん・泥の持出しを防ぐことも環境管理・公衆災害防止の一部である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0105｜難易度：1

造成工事で発生する濁水を河川へ流出させないための基本対策として、最も適切なものはどれか。

ア．濁水を直接河川へ放流する

イ．仮排水路や沈砂池・濁水処理設備を設け、土砂を沈降・処理してから排水する

ウ．降雨時に排水施設を閉塞する

エ．濁水の色が薄ければ無確認で放流する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。周辺水質への影響が大きい。

イ：正しい。濁水を集水し、沈砂・処理して周辺水域への負荷を低減する。

ウ：誤り。現場内の冠水・越流を招く。

エ：誤り。必要な管理基準に基づき確認する。

総合解説：濁水対策は『発生を抑える』『集める』『処理する』『監視する』を組み合わせる。

問題 0106｜難易度：2

降雨時に盛土法面から濁水が多く流出している。最も適切な対策はどれか。

ア．法面上へ水を集中させる

イ．法面をシート・植生等で保護し、表面水を排水路へ導いて土砂侵食を抑える

ウ．排水路を撤去して自然流下させる

エ．濁水量を減らすため法面をさらに急勾配にする

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。侵食を促進する。

イ：正しい。裸地侵食を抑え、集水・排水することで濁水発生そのものを低減する。

ウ：誤り。無秩序な流出を招く。

エ：誤り。侵食・崩壊リスクを高める。

総合解説：濁水処理設備だけに頼らず、法面保護や排水整備で発生源を抑えることが重要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0107｜難易度：2

コンクリートポンプ車やアジテータ車の洗浄水の処理として、最も適切なものはどれか。

ア．薄めればどこへ流してもよい

イ．指定場所で回収・処理し、河川や側溝へ直接流さない

ウ．雨天時に合わせて排水する

エ．洗浄水は通常の雨水と同じ扱いでよい

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。希釈だけで適正処理とはならない。

イ：正しい。セメント分を含む洗浄水は濁度・pH等へ影響するため適切に回収・処理する。

ウ：誤り。環境影響を周辺へ移すだけである。

エ：誤り。一般の雨水とは性状が異なる。

総合解説：コンクリート関連排水はアルカリ性や懸濁物質を含むため、専用の洗浄・処理設備を計画する。

問題 0108｜難易度：2

既設構造物の解体・改修工事で石綿含有建材の可能性がある場合、最も適切な対応はどれか。

ア．工事開始後に粉じんが多ければ初めて調査する

イ．法令に基づく事前調査を行い、該当する場合は届出・作業基準・湿潤化等の飛散防止措置を実施する

ウ．外観だけで石綿なしと判断する

エ．マスクだけ着用して通常解体する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。工事前に調査する。

イ：正しい。解体等工事では石綿の事前調査と結果に応じた飛散防止措置が必要である。

ウ：誤り。所定の方法・資格者等による調査が必要となる。

エ：誤り。周辺への飛散防止措置も必要である。

総合解説：石綿は作業員ばく露だけでなく周辺への飛散を防止する観点からも厳格な事前調査・作業管理が必要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0109｜難易度：3

大雨時に沈砂池の水位が急上昇し、未処理濁水が越流しそうになっている。最も適切な対応はどれか。

ア．沈砂池の堤を切って早く排水する

イ．越流してから下流で清掃する

ウ．濁水発生作業を抑制・中止し、仮貯留・追加処理等で越流を防ぎ、処理能力を見直す

エ．濁度を測定せず放流する

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。未処理濁水を直接流出させる。

イ：誤り。下流環境への影響を防止できない。

ウ：正しい。処理能力を超える前に発生量を抑え、未処理水の流出を防ぐ。

エ：誤り。水質確認と適切な処理が必要である。

総合解説：環境設備は平常時だけでなく降雨等のピーク条件を考慮して能力・緊急対応を計画する。

問題 0110｜難易度：2

工事区域下流の濁度が徐々に上昇しているが、まだ管理値内である。最も適切な対応はどれか。

ア．測定器を停止する

イ．管理値内なので上昇傾向を無視する

ウ．上昇原因を確認し、裸地・沈砂池・排水経路等を点検して管理値超過前に対策する

エ．管理値を高く変更する

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。原因把握ができなくなる。

イ：誤り。管理値超過を未然に防ぐのが環境管理である。

ウ：正しい。悪化傾向を早期に捉え、予防的に施工条件を改善する。

エ：誤り。恣意的な変更は不適切である。

総合解説：水質モニタリングは合否判定だけでなく、変化傾向を施工へフィードバックするために活用する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0111｜難易度：3

大規模造成工事で晴天時は粉じん、降雨時は濁水が問題になっている。最も適切な環境計画はどれか。

ア．粉じん対策だけ実施し濁水は河川へ流す

イ．晴天時と降雨時を同じ対策だけで管理する

ウ．裸地・工事用道路・法面・排水系統を整理し、散水・清掃・法面保護・沈砂池・水質監視を天候に応じて運用する

エ．環境対策は苦情発生後に始める

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。水環境への影響を防ぐ必要がある。

イ：誤り。発生メカニズムに応じた対策が必要である。

ウ：正しい。天候によって異なる環境負荷を一体的に予防管理する。

エ：誤り。事前計画が重要である。

総合解説：造成工事では晴天時の粉じんと降雨時の土砂流出を同じ施工面から生じるリスクとして統合管理する。

問題 0112｜難易度：1

建設副産物について、最も適切な説明はどれか。

ア．再利用できる資材だけを指す

イ．産業廃棄物だけを指し建設発生土は含まない

ウ．建設工事に伴い副次的に得られる物品の総称で、建設発生土や建設廃棄物等を含む

エ．工事で購入した新品材料だけを指す

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。再利用可否だけで定義されない。

イ：誤り。建設発生土も建設副産物に含まれる。

ウ：正しい。建設副産物は建設発生土やコンクリート塊、建設汚泥等を含む広い概念である。

エ：誤り。工事に伴い副次的に発生するものをいう。

総合解説：建設副産物は廃棄物と同義ではない点が重要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0113｜難易度：1

建設発生土について、最も適切な説明はどれか。

ア．建設汚泥と必ず同じ扱いである

イ．すべて産業廃棄物である

ウ．工事から搬出される土砂で、通常は廃棄物処理法上の廃棄物には該当しない

エ．現場外へ搬出すると一般廃棄物になる

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。建設汚泥は産業廃棄物に該当する。

イ：誤り。土砂と建設汚泥は区別される。

ウ：正しい。国土交通省は建設発生土を廃棄物処理法上の廃棄物に該当しないものとして整理している。

エ：誤り。搬出だけで一般廃棄物になるわけではない。

総合解説：建設発生土と建設汚泥の区分は頻出であり、性状・法的扱いを混同しない。

問題 0114｜難易度：2

建設リサイクル法の対象建設工事における基本的な考え方として、最も適切なものはどれか。

ア．再資源化は施工者の任意である

イ．対象工事でも混合廃棄物として一括処分することを原則とする

ウ．特定建設資材を用いた対象工事では、分別解体等と特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う

エ．廃棄物の種類を確認せず全量埋立処分する

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。対象となる特定建設資材廃棄物について義務がある。

イ：誤り。分別解体等を行う。

ウ：正しい。建設リサイクル法は対象工事で分別解体等と再資源化等を義務付ける。

エ：誤り。再資源化・適正処理を行う。

総合解説：コンクリート、アスファルト・コンクリート、木材等の特定建設資材は、対象工事で分別・再資源化を進める。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0115｜難易度：2

産業廃棄物の処理を許可業者へ委託した場合の排出事業者の責任について、最も適切なものはどれか。

ア．処理業者が不法投棄しても排出事業者は一切関係しない

イ．契約した時点で排出事業者の責任は完全になくなる

ウ．委託後も適正処理が行われるよう必要な措置を講じ、最終処分までの処理状況を確認する責任がある

エ．委託先の許可範囲を確認する必要はない

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。不適正処理に対して排出事業者も責任を問われる可能性がある。

イ：誤り。責任はなくならない。

ウ：正しい。委託しても排出事業者責任は残り、適正処理確保が求められる。

エ：誤り。委託先の許可・処理能力等を確認する必要がある。

総合解説：廃棄物処理を外部委託しても『任せきり』にはできない点が重要である。

問題 0116｜難易度：2

産業廃棄物を処理業者へ委託した後、元請がマニフェストを運用する主な目的として最も適切なものはどれか。

ア．建設発生土の体積だけを算出する

イ．工事出来高を計算する

ウ．委託した産業廃棄物の移動・処理状況を排出事業者が把握する

エ．施工機械の燃料使用量を記録する

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。土量計算書ではない。

イ：誤り。出来高管理資料ではない。

ウ：正しい。マニフェストは産業廃棄物の流れと処理状況を把握するために使用する。

エ：誤り。機械管理資料ではない。

総合解説：マニフェストは不法投棄等を防止し、排出事業者が委託処理の完了を確認する重要な仕組みである。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0117｜難易度：2

解体工事でコンクリート塊、木くず、金属くずが発生した。最も適切な現場管理はどれか。

ア．保管場所を決めず空いている場所へ随時置く

イ．全てを混合して一つの容器に入れる

ウ．種類ごとに分別し、表示・保管場所を明確にして再資源化・適正処理しやすくする

エ．再利用可能な金属も埋立処分する

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。飛散・流出・誤搬出を招く。

イ：誤り。混合すると再資源化・処理が困難になる。

ウ：正しい。分別は再資源化率向上と適正処理に有効である。

エ：誤り。資源循環の観点から不適切である。

総合解説：建設副産物は発生段階で分別し、種類・保管・搬出先を明確に管理する。

問題 0118｜難易度：3

産業廃棄物処理業者から『通常より大幅に安く処理できる』との提案があったが、許可内容や処理施設が不明である。最も適切な対応はどれか。

ア．マニフェストを使わず口頭契約で委託する

イ．価格だけで選定する

ウ．許可品目・処理能力・施設・委託契約条件を確認し、適正処理が確認できなければ委託しない

エ．処分先は処理業者に任せ一切確認しない

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。法令に沿った委託・管理が必要である。

イ：誤り。安価でも不適正処理リスクがあれば不適切である。

ウ：正しい。排出事業者は委託基準を守り、適正処理可能な業者を選定する必要がある。

エ：誤り。処理状況の確認責任がある。

総合解説：廃棄物管理では価格・利便性だけでなく、許可・施設・処理実態を確認することが重要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0119｜難易度：2

建設副産物の管理として、環境負荷低減の観点から最も適切な考え方はどれか。

ア．発生量を把握しない

イ．再利用可能でも全量を最終処分する

ウ．発生抑制、再使用、再資源化を検討し、それでも利用困難なものを適正処分する

エ．分別より混合を優先する

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。発生量把握は計画・管理に必要である。

イ：誤り。資源の有効利用に反する。

ウ：正しい。資源循環では発生抑制と再使用・再資源化を優先する。

エ：誤り。分別が再利用・適正処理を容易にする。

総合解説：建設副産物対策は廃棄段階だけでなく、施工計画時から発生抑制・再利用を検討する。

問題 0120｜難易度：3

道路改良工事で建設発生土、アスファルト塊、建設汚泥、金属くずが発生する。最も適切な管理はどれか。

ア．建設発生土も必ず産業廃棄物マニフェストで管理する

イ．全て同じ廃棄物として一括処分する

ウ．各副産物の法的区分・再利用可能性・保管方法・搬出先を整理し、発生から最終利用・処理まで記録管理する

エ．再利用の可否を確認せず全量場外搬出する

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。建設発生土は通常、廃棄物処理法上の廃棄物ではない。

イ：誤り。法的区分・再資源化方法が異なる。

ウ：正しい。建設発生土と産業廃棄物等を区分し、それぞれ適切なルートで管理する。

エ：誤り。現場内外での有効利用を検討する。

総合解説：建設副産物管理では『何が発生するか』『何に分類されるか』『どこでどう利用・処理するか』を一貫して管理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0121｜難易度：1

作業員配置の基本として、最も適切なものはどれか。

ア．作業員数は多いほど必ず安全である

イ．空いている作業員を資格確認せず配置する

ウ．経験年数だけで全ての作業適性を判断する

エ．作業内容・資格・技能・経験・健康状態を確認し、必要人数と役割を定めて配置する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。過密配置は干渉や安全低下を招く場合がある。

イ：誤り。資格や技能が必要な作業がある。

ウ：誤り。作業ごとの資格・健康条件等も確認する。

エ：正しい。作業に必要な能力・資格と本人の状態を考慮して配置する。

総合解説：適正配置は『人数をそろえる』だけでなく、作業内容に適した人を適した役割へ配置することである。

問題 0122｜難易度：1

法令上、資格等が必要な機械運転・玉掛け等の作業へ作業員を配置する場合、最も適切な対応はどれか。

ア．資格証の確認は事故後に行う

イ．本人が経験者と言えば資格確認を省略する

ウ．忙しい日は無資格者へ代行させる

エ．必要な免許・技能講習・特別教育等の要件を確認したうえで配置する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。作業前に確認する。

イ：誤り。経験と法的資格は同一ではない。

ウ：誤り。無資格作業をさせてはならない。

エ：正しい。就業制限等がある業務では必要な資格・教育要件を確認する。

総合解説：資格が必要な業務では、作業員名簿と資格情報を対応させて配置時に確認することが重要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0123｜難易度：1

作業主任者の選任が必要な作業を行う場合の配置として、最も適切なものはどれか。

ア．作業員が少なければ資格要件を省略できる

イ．現場に資格者がいれば別作業をしていてもよい

ウ．作業主任者は書類上だけ選任すればよい

エ．所定資格を有する者を選任し、対象作業を直接指揮できるよう配置する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。法令上の選任要件に従う。

イ：誤り。必要な職務を果たせる配置が必要である。

ウ：誤り。形式的選任では不十分である。

エ：正しい。対象作業を安全に指揮できる位置・体制で選任する。

総合解説：作業主任者は資格を持つだけでなく、現場で作業方法を決定・指揮し安全措置を確認する役割を持つ。

問題 0124｜難易度：2

現場へ初めて入場した作業員を高リスク作業へ配置する場合、最も適切な対応はどれか。

ア．現場ルールは作業中に覚えればよい

イ．他現場経験があれば説明なしで単独作業させる

ウ．新規入場者ほど危険作業へ優先配置する

エ．現場固有の危険、ルール、避難経路、作業手順を教育し、技能・経験を確認して必要な指導者を付ける

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。作業前教育が重要である。

イ：誤り。現場ごとに危険源やルールが異なる。

ウ：誤り。適性・教育を確認する必要がある。

エ：正しい。現場固有の危険性を理解させ、適性を確認して配置する。

総合解説：新規入場者は技能があっても現場固有条件を知らないため、導入教育と配置上の配慮が必要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0125｜難易度：2

人目の届かない場所で体調急変や事故が起こる可能性がある作業を1人で行わせる計画について、最も適切な考え方はどれか。

ア．事故時の発見が遅れても作業時間が短ければ問題ない

イ．経験者なら連絡手段は不要とする

ウ．一人作業は必ず効率が高いので優先する

エ．作業の危険性を評価し、必要に応じ複数配置・定時連絡・監視・緊急通報手段を確保する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。短時間でも重篤化する可能性がある。

イ：誤り。緊急時連絡の確保が重要である。

ウ：誤り。効率だけで決めない。

エ：正しい。単独作業では事故発見・救助遅延のリスクも評価する。

総合解説：作業員配置では作業そのものの危険性に加え、異常時に発見・救援できる体制を考慮する。

問題 0126｜難易度：2

同一ヤードでクレーン班・鉄筋班・測量班が同時作業する場合、最も適切な配置管理はどれか。

ア．クレーン吊荷下へ測量員を配置する

イ．各班が自由に作業位置を決める

ウ．最も人数の多い班を優先し他班は自己判断で避ける

エ．作業範囲・時間帯・指揮系統を調整し、相互の危険区域へ不要に立ち入らない配置とする

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。吊荷下は危険区域である。

イ：誤り。接触・飛来落下リスクが高まる。

ウ：誤り。全体調整が必要である。

エ：正しい。混在作業では人と機械・他職種の相互干渉を管理する。

総合解説：人員配置は職種単位だけでなく、同一空間での相互干渉を考慮して決める。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0127｜難易度：2

連続した夜間作業で作業員の疲労が蓄積している。配置管理として、最も適切なものはどれか。

ア．全員を同じ作業へ長時間固定する

イ．工程が遅れているので休憩を削減する

ウ．疲労は本人の自己管理だけに任せる

エ．休憩・交替・作業時間を見直し、集中力が必要な危険作業へ過度に疲労した者を配置しない

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。適切な交替・休息を検討する。

イ：誤り。事故リスクを高める。

ウ：誤り。事業者側の安全管理も必要である。

エ：正しい。疲労は判断力・反応速度を低下させるため配置・休憩で管理する。

総合解説：労務管理は人数確保だけでなく、疲労や長時間作業による安全性低下も考慮する。

問題 0128｜難易度：3

朝礼時、作業員が『昨夜から発熱と強いめまいがある』と申告した。高所作業への配置について最も適切な対応はどれか。

ア．申告を記録せず作業させる

イ．本人が希望すれば通常どおり高所作業をさせる

ウ．短時間だけなら問題ないとする

エ．体調を確認し、高所作業へ配置せず必要に応じ受診等を勧める

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。健康状態を適切に確認・対応する。

イ：誤り。本人希望だけで安全性は確保できない。

ウ：誤り。短時間でも事故の可能性がある。

エ：正しい。体調不良は墜落・判断ミスにつながるため、危険作業から外す等の措置を行う。

総合解説：作業員配置では当日の健康状態も重要な判断材料となる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0129｜難易度：2

狭い掘削底面へ作業員を追加投入して工程短縮を図る場合、最も適切な考え方はどれか。

ア．重機旋回範囲にも作業員を配置する

イ．人数を増やすほど必ず安全かつ速くなる

ウ．避難経路を資材置場として使う

エ．作業空間・重機動線・避難経路を考慮し、過密による接触リスクが増えない人数とする

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。重機接触リスクが高い。

イ：誤り。人員と能力は単純比例しない。

ウ：誤り。避難経路は確保する。

エ：正しい。狭隘地では過密配置が生産性・安全性を低下させる場合がある。

総合解説：必要人数は作業量だけでなく、作業空間・機械・安全離隔を考慮して決める。

問題 0130｜難易度：2

日本語理解度に差がある作業員を含むチームの安全指示として、最も適切なものはどれか。

ア．危険作業ほど説明を短くする

イ．日本語で一度説明すれば理解確認は不要とする

ウ．分からない作業員は他の作業員を見て判断させる

エ．図・標識・実演・多言語資料等を活用し、指示内容を理解できたか確認する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。危険作業ほど明確な説明が必要である。

イ：誤り。理解度の確認が必要である。

ウ：誤り。誤った模倣につながる可能性がある。

エ：正しい。安全情報を確実に理解できる方法で伝達することが重要である。

総合解説：安全管理では『伝えた』ではなく『理解され、実行できる』状態を作ることが重要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0131｜難易度：2

酸欠等のおそれがある場所で救助が必要となる可能性のある作業を行う場合の人員体制として、最も適切な考え方はどれか。

ア．救助者も無保護で直ちに入る

イ．作業者1人だけで入り、連絡は終了後に行う

ウ．異常が起きてから救助者を探す

エ．作業者だけでなく監視・連絡・救助に必要な体制を事前に確保する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。救助者の二次災害を防止する。

イ：誤り。発見・救助が遅れる。

ウ：誤り。事前準備が必要である。

エ：正しい。異常時を想定して監視・連絡・救助体制を準備する。

総合解説：高リスク作業では通常作業人数だけでなく、異常時対応に必要な人員・役割も配置計画に含める。

問題 0132｜難易度：3

工程遅延のため昼夜2交替制へ変更することになった。最も適切な人員計画はどれか。

ア．引継ぎ時間を削って作業を途切れさせない

イ．昼班をそのまま夜まで延長して連続勤務させる

ウ．夜班は資格者が不足していても開始する

エ．各班に必要資格者・指揮者を配置し、引継ぎ・休息・夜間照明・緊急体制まで含めて再計画する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。作業状態・危険情報の引継ぎが重要である。

イ：誤り。疲労蓄積が大きい。

ウ：誤り。資格要件を満たす必要がある。

エ：正しい。交替制では各シフトが独立して安全に機能できる体制が必要である。

総合解説：工程短縮で勤務体制を変える場合、安全衛生・資格・健康・情報伝達を含めて配置を再設計する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0133｜難易度：1

令和7年6月1日施行の熱中症対策強化で、対象となる『熱中症を生ずるおそれのある作業』の目安として正しいものはどれか。

ア．WBGT25度以上又は気温28度以上で30分以上の作業

イ．WBGT28度以上又は気温31度以上で、連続1時間以上又は1日4時間を超えて行うことが見込まれる作業

ウ．気温35度以上で8時間連続する作業だけ

エ．WBGT値に関係なく全ての屋外作業

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。改正規則の対象基準ではない。

イ：正しい。厚生労働省が示す対象作業の基準である。

ウ：誤り。より低い条件から対象となり得る。

エ：誤り。対象基準が定められている。

総合解説：2025年6月1日から一定の高温作業について、熱中症の早期発見・重篤化防止のための体制整備等が義務化された。

問題 0134｜難易度：1

一定の高温作業に対して事業者へ義務付けられた熱中症重篤化防止策の組合せとして、最も適切なものはどれか。

ア．気温測定の廃止・休憩削減・作業時間延長

イ．冷房車両の購入・全作業中止・医師常駐

ウ．作業員の自己申告だけ・記録不要・連絡先不要

エ．報告体制の整備・実施手順の作成・関係者への周知

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。熱中症リスクを高める。

イ：誤り。一律にこれら全てを義務付ける制度ではない。

ウ：誤り。組織的な報告体制・手順が必要である。

エ：正しい。改正安衛則では報告体制、手順、周知が義務付けられている。

総合解説：熱中症対策強化の核心は『早く見つけ、すぐ離脱・冷却・受診等につなげる体制』を事前に作ることである。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0135｜難易度：2

熱中症予防でWBGT値を利用する理由として、最も適切なものはどれか。

ア．冬季の凍結防止だけに使う指標だから

イ．気温と全く同じ値だから

ウ．作業員の血圧を直接測定する指標だから

エ．気温だけでなく湿度・輻射熱等を含む暑熱環境の評価に利用できるため

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。暑熱環境評価に用いる。

イ：誤り。気温とは異なる。

ウ：誤り。人体の血圧を測る指標ではない。

エ：正しい。WBGTは熱ストレスを評価する代表的な指標である。

総合解説：現場ではWBGTを測定・確認し、作業強度や服装、暑熱順化等も考慮して作業・休憩を調整する。

問題 0136｜難易度：2

真夏の舗装作業中、作業員がふらつきと大量発汗を訴えた。最も適切な初動はどれか。

ア．直ちに作業から離脱させ、涼しい場所で身体を冷却し、症状に応じて医療機関への搬送等を行う

イ．休ませず軽作業へ変更する

ウ．水だけ渡して単独で帰宅させる

エ．本人が大丈夫と言えば作業を継続させる

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。熱中症のおそれがある場合は作業離脱・冷却・必要な診察等を迅速に行う。

イ：誤り。症状が悪化する可能性がある。

ウ：誤り。状態悪化時の対応が遅れる危険がある。

エ：誤り。本人判断だけに依存しない。

総合解説：熱中症は初期症状を放置すると重篤化するため、異常を認めたら速やかに作業から外す。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0137｜難易度：2

梅雨明け直後に新規作業員が炎天下作業へ入る場合、最も適切な配慮はどれか。

ア．暑熱順化が十分でない可能性を考え、作業時間・休憩を段階的に調整する

イ．初日から最も重い作業を長時間行わせる

ウ．若年者なら順化は不要とする

エ．水分摂取を減らして体を慣らす

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。暑熱順化していない時期・作業員は熱中症リスクが高い。

イ：誤り。急激な暑熱負荷は危険である。

ウ：誤り。年齢だけで順化状態は判断できない。

エ：誤り。水分・塩分補給が重要である。

総合解説：熱中症予防では、暑くなり始めや休暇明けなど順化が不十分な時期に特に注意する。

問題 0138｜難易度：1

高温環境での作業中の水分・塩分補給として、最も適切なものはどれか。

ア．のどの渇きだけに頼らず、作業条件に応じて定期的に水分・塩分を補給できるようにする

イ．作業終了まで飲水を控える

ウ．アルコール飲料で水分補給する

エ．大量の発汗があっても塩分補給は一切考えない

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。脱水を予防するため計画的な補給が重要である。

イ：誤り。脱水・熱中症リスクを高める。

ウ：誤り。アルコールは適切な水分補給にならない。

エ：誤り。発汗量等に応じて塩分も考慮する。

総合解説：水分・塩分補給は休憩場所・飲料準備とセットで事前に計画する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0139｜難易度：2

同じWBGT環境でも熱中症リスクが高くなる可能性がある作業員への配慮として、最も適切なものはどれか。

ア．睡眠不足・体調不良・暑熱順化不足等を確認し、必要に応じ作業負荷や配置を調整する

イ．全員同じ環境なので個人差は考えない

ウ．体調確認はプライバシーのため一切行わない

エ．体調不良者ほど発汗を促すため重作業へ配置する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。個人の健康状態・順化状態等で熱中症リスクは変わる。

イ：誤り。個人差がある。

ウ：誤り。安全な範囲で必要な健康確認を行う。

エ：誤り。危険を高める。

総合解説：暑熱環境だけでなく作業強度・服装・健康状態・順化を総合して配置を判断する。

問題 0140｜難易度：2

環境省の暑さ指数予測で高いWBGTが見込まれる日の施工管理として、最も適切なものはどれか。

ア．事前に作業時間・休憩・人員配置・冷却場所・緊急連絡体制を見直す

イ．予測情報は現場に関係ないため無視する

ウ．高温になるほど休憩を減らす

エ．当日倒れる人が出てから対策する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。予測を活用して高リスク時間帯の作業を調整する。

イ：誤り。予防管理に有用な情報である。

ウ：誤り。熱中症リスクを高める。

エ：誤り。事前対策が重要である。

総合解説：現場測定と予測情報を組み合わせ、暑熱負荷が高い時間帯を避けるなど工程面でも対策する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0141｜難易度：3

WBGTが高い日に、アスファルト舗装と交通誘導を長時間行う計画である。最も適切な対策はどれか。

ア．WBGTを確認し、作業時間短縮・交替・休憩・冷却・水分塩分・相互確認・緊急手順を一体で運用する

イ．舗装班だけ対策し交通誘導員は対象外とする

ウ．水分補給だけで作業時間は変更しない

エ．体調不良者が出るまで通常工程を維持する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。屋外で拘束時間が長い交通誘導員も含め、現場全体で多層的な対策を行う。

イ：誤り。警備員等も熱中症リスクがある。

ウ：誤り。作業負荷・休憩・冷却等も重要である。

エ：誤り。予防的に管理する。

総合解説：令和8年度の熱中症管理では、設備・労務・工程・連絡体制を組み合わせた現場運用が重要である。

問題 0142｜難易度：1

工事現場の災害時対応として、平常時から整備しておくべきものはどれか。

ア．消防・警察・医療機関・発注者等への連絡先と社内連絡系統

イ．事故発生後に検索する連絡先だけ

ウ．現場代理人個人の記憶だけ

エ．工事完成後に使用する連絡網

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。緊急時に迷わず通報・報告できる体制を事前に整備する。

イ：誤り。事故時は時間的余裕がない。

ウ：誤り。複数人が利用できる明確な連絡網が必要である。

エ：誤り。施工中に必要である。

総合解説：緊急対応は発生してから考えるのではなく、連絡先・責任者・搬送先を平常時に明確にする。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0143｜難易度：2

作業員が重機に接触して負傷した場合の初動として、最も適切なものはどれか。

ア．二次災害を防止して作業を停止し、負傷者の状態を確認して必要な救急要請・応急処置を行う

イ．工事を継続したまま負傷者だけ移動させる

ウ．原因調査を優先して救急要請を後回しにする

エ．負傷者本人に帰宅させる

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。安全確保と救命を最優先する。

イ：誤り。二次災害の危険が残る。

ウ：誤り。人命対応が優先される。

エ：誤り。重傷の可能性を適切に評価する必要がある。

総合解説：事故時の優先順位は危険源停止・二次災害防止・救命・通報であり、その後に原因調査を行う。

問題 0144｜難易度：2

現場の燃料保管場所付近で火災が発生した。最も適切な初動はどれか。

ア．周囲へ知らせて消防へ通報し、危険物への延焼・爆発リスクを考慮して安全な範囲で初期消火・避難を行う

イ．誰にも知らせず1人で消火する

ウ．燃料容器を火元へ近づけて移動する

エ．作業員を風下側へ集合させる

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。通報・避難と危険物の二次災害防止を優先する。

イ：誤り。応援・通報が遅れる。

ウ：誤り。延焼・爆発の危険がある。

エ：誤り。煙・有害ガスを避ける必要がある。

総合解説：火災時は火元だけでなく、燃料・ガス・周辺資材による二次災害を考慮する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0145｜難易度：3

施工中に強い地震を感じ、足場・土留め・クレーンが設置されている現場である。最も適切な対応はどれか。

ア．作業員の安全を確認して一旦退避し、足場・土留め・クレーン・架空線等を点検して安全確認後に再開する

イ．揺れが収まれば直ちに全作業を再開する

ウ．外観に異常がなければ土留め計測は確認しない

エ．クレーンの吊荷を高い位置で保持したまま点検する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。地震で仮設・地盤・設備が変状している可能性があるため点検する。

イ：誤り。二次災害防止のため確認が必要である。

ウ：誤り。計測値・接合部等も確認する。

エ：誤り。吊荷を安全な状態にする。

総合解説：地震後は完成構造物だけでなく、足場・土留め・電気・揚重設備など施工中の仮設状態を重点点検する。

問題 0146｜難易度：2

山間部の切土工事中に豪雨となり、法面から濁水と小石の落下が増えてきた。最も適切な対応はどれか。

ア．作業を中止して法面直下から退避し、降雨後に斜面・排水・落石状況を点検して再開判断する

イ．工程遅延を避けるため作業速度を上げる

ウ．落石が小さいうちは法面直下で待機する

エ．降雨中に作業員を法面へ登らせて確認する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。崩壊兆候がある場合は人命を優先して退避する。

イ：誤り。危険を増大させる。

ウ：誤り。崩壊へ発展する可能性がある。

エ：誤り。危険な状態で点検させない。

総合解説：自然災害時の対応では中止基準と安全な退避場所を事前に定めることが重要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0147｜難易度：3

道路掘削中に既設水道管を損傷し、大量の漏水で路面下の土砂流出が疑われる。最も適切な初動はどれか。

ア．作業を停止して重機・作業員を安全位置へ退避させ、道路管理者・水道管理者等へ連絡し、陥没・浸水を警戒して必要な交通規制を行う

イ．漏水箇所へ掘削土を直ちに投入し、管理者へ連絡せず作業を継続する

ウ．漏水量が多くても掘削を続け、破損箇所を重機で露出させる

エ．排水ポンプだけ設置し、路面下の空洞化や第三者への影響は確認しない

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。漏水による地盤流失・陥没・浸水などの二次災害を防ぐため、作業停止・退避・管理者連絡・交通規制等を優先する。

イ：誤り。無断で埋め戻しても漏水や空洞化を安全に管理できず、管理者への連絡も必要である。

ウ：誤り。漏水下での掘削継続は地盤崩壊や陥没を拡大するおそれがある。

エ：誤り。排水だけでなく、路面下の土砂流出、周辺構造物、第三者交通への影響を確認する必要がある。

総合解説：地下埋設物を損傷した場合は、ライフラインの種類に応じて二次災害を想定し、作業停止・人の安全確保・管理者連絡・周辺規制を優先する。

問題 0148｜難易度：1

救急車を要請した建設現場で、搬送を円滑にするため最も適切な対応はどれか。

ア．現場入口に誘導者を配置し、救急隊が負傷者まで安全かつ速やかに到達できる経路を確保する

イ．救急隊に現場内を自由に探してもらう

ウ．大型車両を救急経路へ駐車させる

エ．現場住所を通報時に伝えない

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。現場は入口や作業場所が分かりにくいため誘導が重要である。

イ：誤り。救命時間を失う。

ウ：誤り。搬送経路を確保する必要がある。

エ：誤り。正確な位置情報を伝える。

総合解説：緊急搬送では通報だけでなく、入口誘導・場内経路・負傷者位置の共有まで準備する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0149｜難易度：1

避難・救助訓練を定期的に行う主な目的として、最も適切なものはどれか。

ア．緊急時の役割・連絡・避難経路を実際に確認し、不備を事前に改善するため

イ．作業時間を減らすことだけ

ウ．事故責任者を決めるため

エ．訓練をした現場では実際の点検を不要にするため

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。訓練により計画の実効性と課題を確認できる。

イ：誤り。目的は緊急対応能力の向上である。

ウ：誤り。責任追及が目的ではない。

エ：誤り。日常点検等は別途必要である。

総合解説：緊急計画は机上で作るだけでなく、訓練して連絡遅延・経路障害・役割不明確等を改善する。

問題 0150｜難易度：3

台風接近中の現場で停電が発生し、仮設排水ポンプが停止、掘削部の水位が上昇している。強風で仮囲いも不安定である。最も適切な対応はどれか。

ア．作業員・第三者を危険区域から退避させ、非常電源・排水・仮囲い安定化を安全に実施できる体制で行い、復旧後に全体点検する

イ．工程優先で掘削内作業を続ける

ウ．排水だけ復旧すれば仮囲いは放置する

エ．作業員を分散させ各自の判断で対応する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。複数の二次災害リスクを優先順位付けし、統一指揮で対応する。

イ：誤り。冠水・崩壊・感電等の危険がある。

ウ：誤り。第三者災害の危険も同時に管理する。

エ：誤り。緊急時ほど指揮系統を明確にする。

総合解説：災害時対応では一つの設備故障だけでなく、停電・豪雨・強風等が連鎖する複合災害を想定する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/